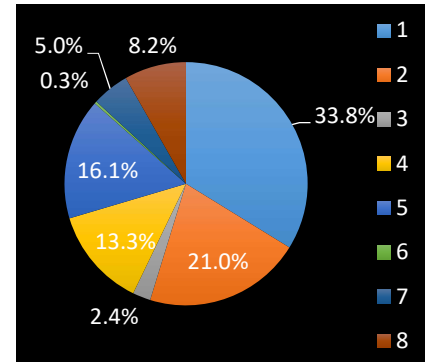


北海道

2018年度 46,741TJ 対前年度比 109.1%

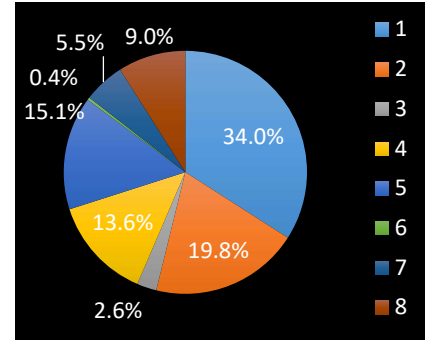


再生可能エネルギー供給状況

2019年3月末の設備状況をもとに2018年度について推計しました。

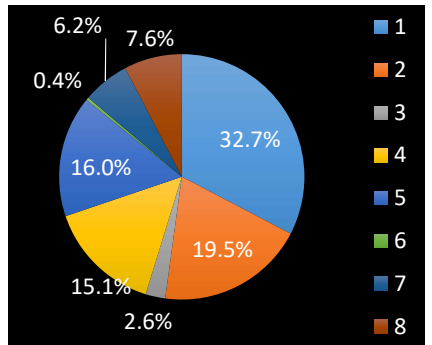
主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

2017年度 42,846TJ 対前年度比 111.5%



エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	15,802TJ	17	41	47	33.8%
◎ 2 風力発電	9,795TJ	2	13	23	21.0%
3 地熱発電	1,114TJ	6	6	8	2.4%
○ 4 小水力発電	6,197TJ	7	27	40	13.3%
○ 5 バイオマス発電	7,516TJ	4	17	44	16.1%
6 太陽熱利用	145TJ	40	47	47	0.3%
7 地熱利用	2,316TJ	2	16	29	5.0%
8.バイオマス熱利用	3,856TJ	2	20	43	8.2%
合計(供給量)	46,741TJ	3			
再生可能エネルギー自給率			10.87%	再エネ自給率ランク	37
食料自給率			196.2%	食料自給率ランク	1
供給密度(TJ/km ²)			0.597	供給密度ランク	47
民生+農林水産業用エネルギー需要(再エネ熱含む)				429,913TJ	
区域面積				78,358km ²	

2016年度 38,429TJ



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	苫前郡苫前町	503.8%	1	江別市	9.094	☆1	河西郡更別村	6758.3%
☆2	檜山郡上ノ国町	262.5%	2	檜山郡江差町	6.427	☆2	斜里郡清里町	5705.2%
☆3	有珠郡壮瞥町	227.1%	3	室蘭市	5.860	☆3	斜里郡小清水町	5527.1%
☆4	磯谷郡蘭越町	193.8%	4	苫小牧市	4.721	☆4	河東郡士幌町	4155.6%
☆5	天塩郡幌延町	175.0%	5	勇払郡安平町	4.652	☆5	網走郡大空町	3955.7%
☆6	勇払郡安平町	170.0%	6	稚内市	4.044	☆6	中川郡豊頃町	3373.7%
☆7	様似郡様似町	154.0%	7	寿都郡寿都町	3.934	☆7	河西郡中札内村	3228.0%
☆8	寿都郡寿都町	153.3%	8	上川郡東神楽町	3.599	☆8	十勝郡浦幌町	2704.8%
☆9	虻田郡二七コ町	149.8%	9	虻田郡二七コ町	3.598	☆9	河東郡鹿追町	2408.7%
☆10	白糠郡白糠町	131.4%	10	有珠郡壮瞥町	3.580	☆10	斜里郡斜里町	2251.0%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生+農林水産業用エネルギー需要で割った値です。

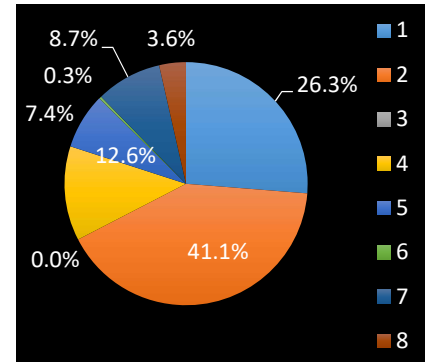
※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

青森県

2018年度 24,512TJ 対前年度比 103.2%



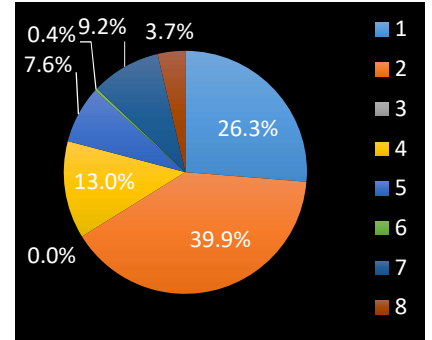
再生可能エネルギー供給状況

2019年3月末の設備状況をもとに2018年度について推計しました。

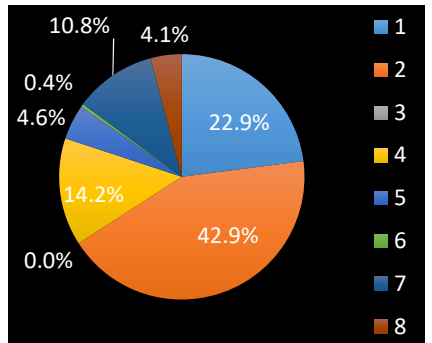
主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	6,439TJ	35	35	40	26.3%
◎ 2 風力発電	10,083TJ	1	2	1	41.1%
3 地熱発電	0TJ	14	14	14	0.0%
○ 4 小水力発電	3,086TJ	17	20	25	12.6%
5 バイオマス発電	1,808TJ	21	18	35	7.4%
6 太陽熱利用	83TJ	45	46	44	0.3%
7 地熱利用	2,138TJ	3	2	2	8.7%
8.バイオマス熱利用	875TJ	30	22	33	3.6%
合計(供給量)	24,512TJ	21			
再生可能エネルギー自給率			23.30%	再エネ自給率ランク	20
食料自給率			109.2%	食料自給率ランク	4
供給密度(TJ/km ²)			2.541	供給密度ランク	34
民生+農林水産業用エネルギー需要(再エネ熱含む)				105,220TJ	
区域面積				9,646km ²	

2017年度 23,752TJ 対前年度比 110.6%



2016年度 21,480TJ



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	下北郡東通村	573.9%	1	八戸市	6.689	☆1	つがる市	597.1%
☆2	上北郡六ヶ所村	414.9%	2	三沢市	4.428	☆2	東津軽郡蓬田村	554.2%
☆3	上北郡横浜町	369.4%	3	西津軽郡深浦町	3.202	☆3	北津軽郡中泊町	447.1%
☆4	西津軽郡深浦町	234.9%	4	平川市	2.928	☆4	東津軽郡平内町	390.9%
☆5	上北郡野辺地町	123.9%	5	青森市	2.547	☆5	北津軽郡鶴田町	344.5%
6	下北郡大間町	95.6%	6	南津軽郡藤崎町	2.369	☆6	上北郡横浜町	302.2%
7	上北郡七戸町	86.9%	7	南津軽郡田舎館村	2.098	☆7	北津軽郡板柳町	300.4%
8	上北郡六戸町	85.1%	8	五所川原市	1.690	☆8	三戸郡新郷村	288.7%
9	西津軽郡鯉ヶ沢町	48.1%	9	十和田市	1.331	☆9	南津軽郡田舎館村	265.6%
10	平川市	43.0%	10	西津軽郡鯉ヶ沢町	1.063	☆10	南津軽郡藤崎町	247.7%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生+農林水産業用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
 ※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地球食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

岩手県

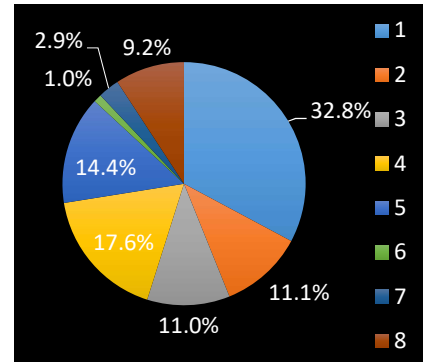
2018年度 21,114TJ 対前年度比 107.0%

再生可能エネルギー供給状況

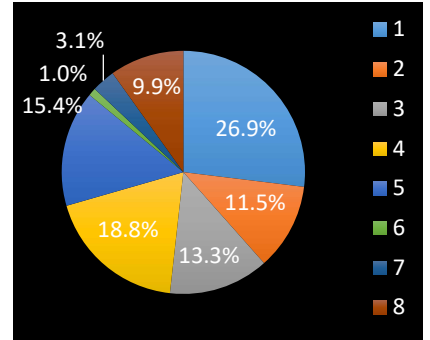
2019年3月末の設備状況をもとに2018年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

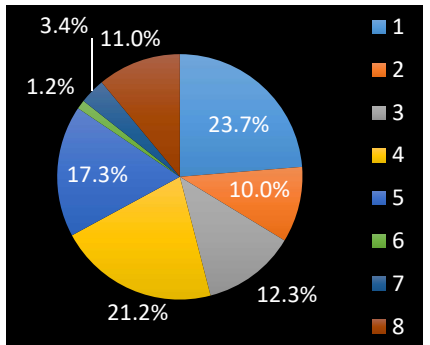
エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	6,930TJ	33	31	43	32.8%
○ 2 風力発電	2,336TJ	10	10	20	11.1%
○ 3 地熱発電	2,321TJ	4	4	4	11.0%
○ 4 小水力発電	3,714TJ	12	13	30	17.6%
○ 5 バイオマス発電	3,040TJ	13	6	29	14.4%
6 太陽熱利用	221TJ	38	35	43	1.0%
7 地熱利用	604TJ	13	10	23	2.9%
8.バイオマス熱利用	1,945TJ	10	4	28	9.2%
合計(供給量)	21,114TJ	27			
再生可能エネルギー自給率			23.87%	再エネ自給率ランク	18
食料自給率			93.2%	食料自給率ランク	6
供給密度(TJ/km ²)			1.382	供給密度ランク	44
民生+農林水産業用エネルギー需要(再エネ熱含む)				88,439TJ	
区域面積				15,275km ²	



2017年度 19,737TJ 対前年度比 112.6%



2016年度 17,521TJ



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	九戸郡野田村	386.4%	1	九戸郡野田村	10.655	☆1	胆沢郡金ヶ崎町	312.5%
☆2	二戸郡一戸町	184.3%	2	紫波郡矢巾町	5.896	☆2	岩手郡雫石町	266.4%
☆3	岩手郡雫石町	169.4%	3	二戸郡一戸町	5.185	☆3	和賀郡西和賀町	252.5%
☆4	岩手郡葛巻町	150.4%	4	岩手郡雫石町	3.887	☆4	八幡平市	220.0%
☆5	八幡平市	113.7%	5	滝沢市	2.684	☆5	岩手郡葛巻町	196.4%
6	下閉伊郡岩泉町	94.9%	6	胆沢郡金ヶ崎町	2.632	☆6	紫波郡紫波町	181.8%
7	九戸郡洋野町	82.9%	7	北上市	2.502	☆7	奥州市	180.3%
8	上閉伊郡大槌町	70.9%	8	九戸郡洋野町	2.377	☆8	花巻市	163.8%
9	胆沢郡金ヶ崎町	51.0%	9	上閉伊郡大槌町	2.330	☆9	岩手郡岩手町	161.3%
10	気仙郡住田町	45.1%	10	八幡平市	2.111	☆10	西磐井郡平泉町	159.8%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生+農林水産業用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

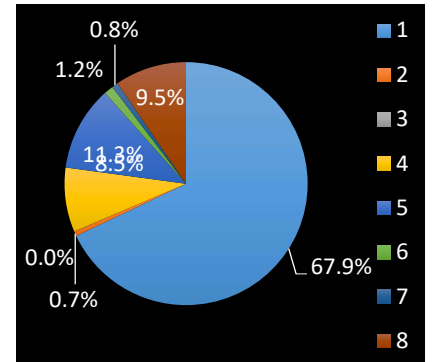
※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

宮城県

2018年度 22,647TJ 対前年度比 132.0%

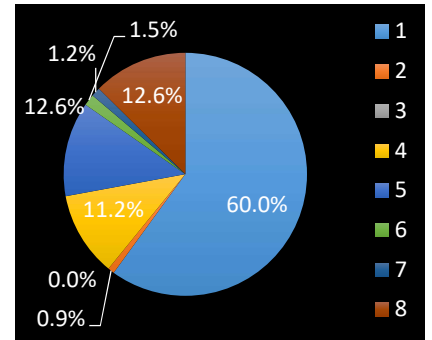
再生可能エネルギー供給状況

2019年3月末の設備状況をもとに2018年度について推計しました。

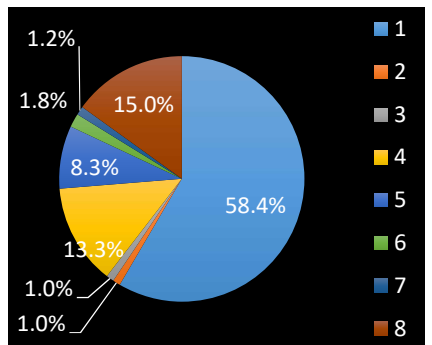


主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

2017年度 17,161TJ 対前年度比 118.2%



2016年度 14,522TJ



エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	15,382TJ	19	23	22	67.9%
2 風力発電	148TJ	31	32	32	0.7%
3 地熱発電	1TJ	12	13	12	0.0%
4 小水力発電	1,933TJ	26	28	28	8.5%
○ 5 バイオマス発電	2,558TJ	17	16	15	11.3%
6 太陽熱利用	277TJ	36	37	37	1.2%
7 地熱利用	189TJ	26	26	30	0.8%
8.バイオマス熱利用	2,159TJ	8	11	11	9.5%
合計(供給量)	22,647TJ	25			
再生可能エネルギー自給率			16.49%	再エネ自給率ランク 29	
食料自給率			65.4%	食料自給率ランク 12	
供給密度(TJ/km ²)			3.110	供給密度ランク 23	
民生+農林水産業用エネルギー需要(再エネ熱含む)				137,352TJ	
区域面積				7,282km ²	

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	刈田郡七ヶ宿町	429.5%	1	塩竈市	13.215	☆1	加美郡色麻町	459.9%
☆2	刈田郡蔵王町	112.4%	2	岩沼市	12.120	☆2	牡鹿郡女川町	334.9%
3	黒川郡大郷町	94.2%	3	亶理郡亶理町	11.952	☆3	遠田郡美里町	296.8%
4	黒川郡大和町	88.3%	4	多賀城市	9.349	☆4	黒川郡大郷町	296.5%
5	亶理郡亶理町	70.1%	5	石巻市	7.051	☆5	栗原市	287.9%
6	伊具郡丸森町	66.9%	6	名取市	6.604	☆6	登米市	286.7%
7	亶理郡山元町	63.6%	7	黒川郡大和町	5.757	☆7	加美郡加美町	273.6%
8	白石市	61.6%	8	仙台市	5.422	☆8	遠田郡涌谷町	246.5%
9	黒川郡大衡村	52.5%	9	亶理郡山元町	5.225	☆9	黒川郡大衡村	218.6%
10	石巻市	44.3%	10	宮城県七ヶ浜町	5.089	☆10	刈田郡七ヶ宿町	192.0%

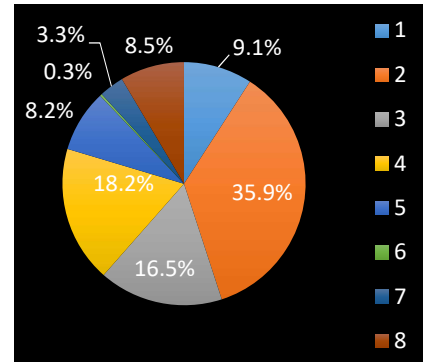
※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生+農林水産業用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
 ※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

秋田県

2018年度 27,254TJ 対前年度比 109.1%



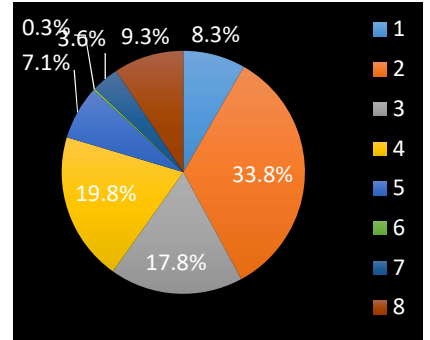
再生可能エネルギー供給状況

2019年3月末の設備状況をもとに2018年度について推計しました。

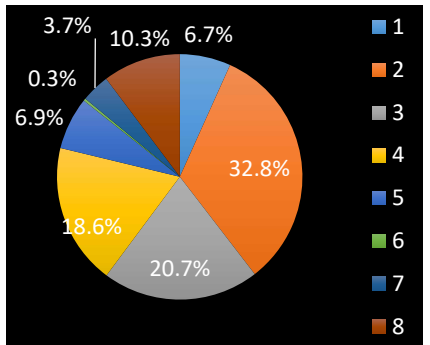
主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
1 太陽光発電	2,483TJ	46	43	46	9.1%
◎ 2 風力発電	9,779TJ	3	1	2	35.9%
○ 3 地熱発電	4,493TJ	2	2	2	16.5%
○ 4 小水力発電	4,950TJ	9	3	16	18.2%
5 バイオマス発電	2,248TJ	18	7	31	8.2%
6 太陽熱利用	77TJ	46	44	46	0.3%
7 地熱利用	900TJ	9	4	14	3.3%
8.バイオマス熱利用	2,323TJ	7	2	21	8.5%
合計(供給量)	27,254TJ	16			
再生可能エネルギー自給率			36.74%	再エネ自給率ランク	3
食料自給率			176.8%	食料自給率ランク	2
供給密度(TJ/km ²)			2.346	供給密度ランク	37
民生+農林水産業用エネルギー需要(再エネ熱含む)				74,181TJ	
区域面積				11,616km ²	

2017年度 24,975TJ 対前年度比 101.6%



2016年度 24,573TJ



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	鹿角市	228.9%	1	男鹿市	8.952	☆1	南秋田郡大潟村	6475.3%
☆2	にかほ市	121.1%	2	にかほ市	7.164	☆2	仙北郡美郷町	470.0%
☆3	山本郡八峰町	111.7%	3	鹿角市	6.681	☆3	山本郡三種町	429.1%
4	山本郡三種町	89.0%	4	潟上市	5.613	☆4	南秋田郡井川町	382.5%
5	男鹿市	84.7%	5	秋田市	5.031	☆5	山本郡八峰町	342.6%
6	由利本荘市	77.4%	6	能代市	4.959	☆6	大仙市	326.1%
7	仙北市	67.0%	7	山本郡三種町	3.291	☆7	雄勝郡羽後町	313.8%
8	湯沢市	61.5%	8	由利本荘市	3.238	☆8	横手市	257.8%
9	能代市	51.0%	9	湯沢市	2.352	☆9	山本郡藤里町	250.9%
10	雄勝郡東成瀬村	43.8%	10	山本郡八峰町	1.996	☆10	南秋田郡五城目町	248.1%

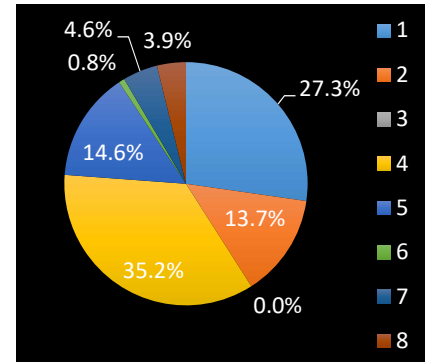
※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生+農林水産業用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
 ※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

山形県

2018年度 9,633TJ 対前年度比 114.1%

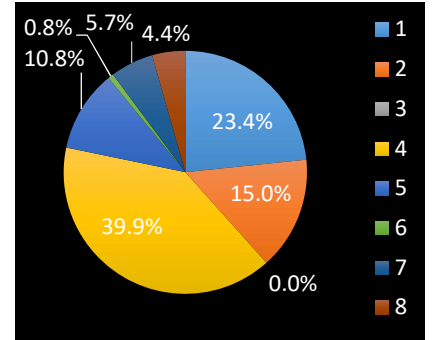


再生可能エネルギー供給状況

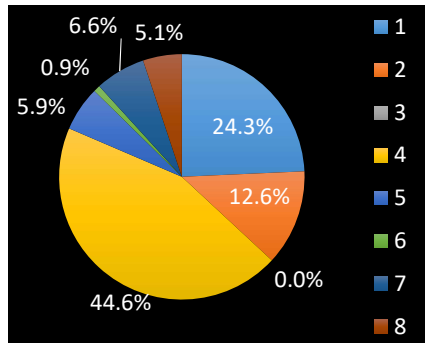
2019年3月末の設備状況をもとに2018年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

2017年度 8,444TJ 対前年度比 115.3%



2016年度 7,326TJ



エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	2,629TJ	45	39	44	27.3%
○ 2 風力発電	1,318TJ	17	16	21	13.7%
3 地熱発電	0TJ	14	14	14	0.0%
◎ 4 小水力発電	3,390TJ	14	11	22	35.2%
○ 5 バイオマス発電	1,403TJ	29	12	38	14.6%
6 太陽熱利用	75TJ	47	43	45	0.8%
7 地熱利用	446TJ	16	11	22	4.6%
8.バイオマス熱利用	372TJ	42	34	45	3.9%
合計(供給量)	9,633TJ	43			
再生可能エネルギー自給率			14.24%	再エネ自給率ランク	31
食料自給率			129.0%	食料自給率ランク	3
供給密度(TJ/km ²)			1.033	供給密度ランク	46
民生+農林水産業用エネルギー需要(再エネ熱含む)				67,626TJ	
区域面積				9,323km ²	

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	西村山郡西川町	219.4%	1	飽海郡遊佐町	4.549	☆1	最上郡鮭川村	581.7%
☆2	飽海郡遊佐町	146.2%	2	酒田市	3.226	☆2	東置賜郡川西町	453.0%
☆3	西村山郡朝日町	109.2%	3	新庄市	2.386	☆3	東田川郡三川町	448.3%
☆4	最上郡大蔵村	106.5%	4	西村山郡朝日町	1.741	☆4	東田川郡庄内町	425.9%
5	最上郡最上町	36.2%	5	山形市	1.667	☆5	最上郡戸沢村	397.6%
6	最上郡真室川町	32.6%	6	天童市	1.637	☆6	西置賜郡飯豊町	387.5%
7	最上郡金山町	30.5%	7	西村山郡西川町	1.487	☆7	最上郡金山町	363.6%
8	酒田市	29.0%	8	米沢市	1.444	☆8	尾花沢市	358.2%
9	新庄市	21.9%	9	鶴岡市	1.269	☆9	最上郡大蔵村	351.1%
10	鶴岡市	21.7%	10	東置賜郡高畠町	1.075	☆10	最上郡舟形町	320.8%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生+農林水産業用エネルギー需要で割った値です。

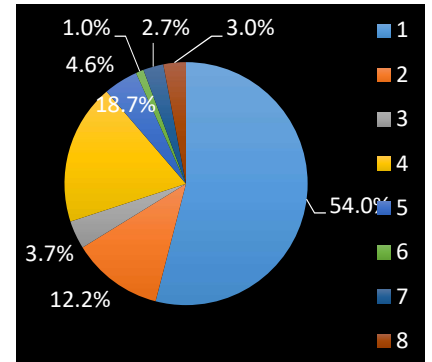
※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

福島県

2018年度 33,338TJ 対前年度比 115.9%

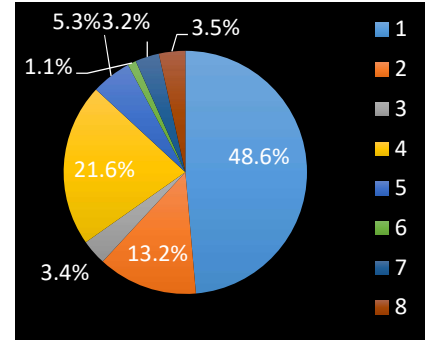


再生可能エネルギー供給状況

2019年3月末の設備状況をもとに2018年度について推計しました。

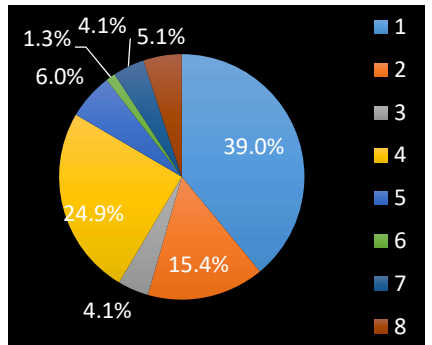
主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

2017年度 28,765TJ 対前年度比 115.2%



エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	18,011TJ	13	11	35	54.0%
○ 2 風力発電	4,068TJ	5	5	12	12.2%
3 地熱発電	1,248TJ	5	5	5	3.7%
○ 4 小水力発電	6,231TJ	6	9	15	18.7%
5 バイオマス発電	1,533TJ	24	23	42	4.6%
6 太陽熱利用	344TJ	34	32	39	1.0%
7 地熱利用	901TJ	8	7	16	2.7%
8.バイオマス熱利用	1,002TJ	25	21	38	3.0%
合計(供給量)	33,338TJ	13			
再生可能エネルギー自給率			28.83%	再エネ自給率ランク	8
食料自給率			70.3%	食料自給率ランク	10
供給密度(TJ/km ²)			2.419	供給密度ランク	36
民生+農林水産業用エネルギー需要(再エネ熱含む)				115,641TJ	
区域面積				13,784km ²	

2016年度 24,967TJ



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	河沼郡柳津町	645.6%	1	双葉郡富岡町	12.334	☆1	河沼郡湯川村	629.1%
☆2	南会津郡下郷町	329.6%	2	西白河郡矢吹町	10.331	☆2	河沼郡会津坂下町	340.8%
☆3	双葉郡川内村	160.4%	3	岩瀬郡鏡石町	7.495	☆3	耶麻郡猪苗代町	316.8%
☆4	田村市	130.8%	4	白河市	7.153	☆4	大沼郡会津美里町	302.3%
5	石川郡浅川町	89.5%	5	河沼郡柳津町	7.149	☆5	岩瀬郡天栄村	278.6%
6	岩瀬郡天栄村	80.9%	6	南相馬市	6.046	☆6	大沼郡昭和村	263.5%
7	石川郡古殿町	74.6%	7	石川郡浅川町	5.860	☆7	耶麻郡磐梯町	245.1%
8	南相馬市	69.0%	8	西白河郡泉崎村	5.606	☆8	喜多方市	240.3%
9	西白河郡泉崎村	67.6%	9	相馬市	5.178	☆9	西白河郡中島村	222.4%
10	西白河郡矢吹町	67.4%	10	郡山市	5.169	☆10	西白河郡泉崎村	222.4%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生+農林水産業用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

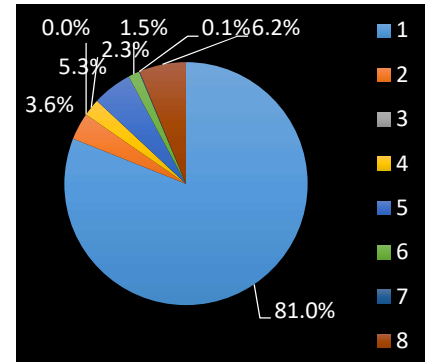
※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 2011年3月の東京電力福島第一原発事故による避難指示区域となり、避難のために世帯数が事故前の3分の1以下になっている7つの町村(富岡町、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、飯館村、楢葉町)は、エネルギー自給率・食料自給率推計の対象外としています。なお、これらの町村の再生可能エネルギー供給量推計は実施し、県全体の供給量に加えるとともに、供給密度推計を行っています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

茨城県

2018年度 49,449TJ 対前年度比 112.6%

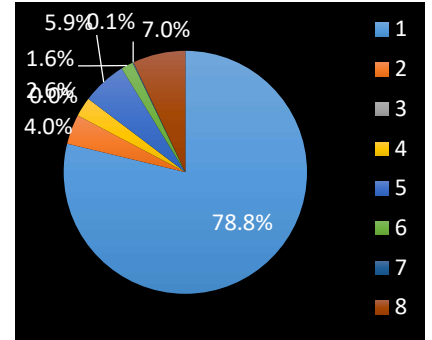


再生可能エネルギー供給状況

2019年3月末の設備状況をもとに2018年度について推計しました。

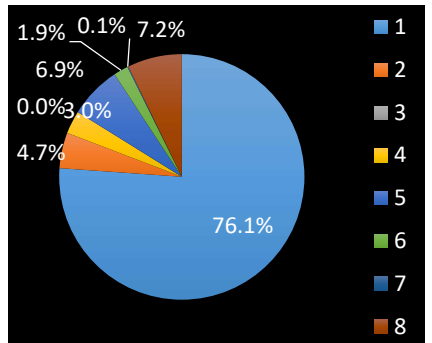
主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

2017年度 43,927TJ 対前年度比 116.8%



エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	40,072TJ	1	5	2	81.0%
2 風力発電	1,770TJ	14	19	13	3.6%
3 地熱発電	0TJ	14	14	14	0.0%
4 小水力発電	1,135TJ	33	34	34	2.3%
5 バイオマス発電	2,611TJ	16	22	13	5.3%
6 太陽熱利用	734TJ	22	29	18	1.5%
7 地熱利用	48TJ	38	37	39	0.1%
8.バイオマス熱利用	3,079TJ	3	10	3	6.2%
合計(供給量)	49,449TJ	1			
再生可能エネルギー自給率			26.65%	再エネ自給率ランク 12	
食料自給率			70.0%	食料自給率ランク 11	
供給密度(TJ/km ²)			8.110	供給密度ランク 5	
民生+農林水産業用エネルギー需要(再エネ熱含む)				185,525TJ	
区域面積				6,097km ²	

2016年度 37,601TJ



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
1	行方市	86.2%	1	神栖市	32.481	☆1	稲敷郡河内町	443.8%
2	神栖市	76.1%	2	牛久市	14.130	☆2	鉾田市	341.2%
3	高萩市	75.6%	3	つくば市	13.674	☆3	行方市	306.5%
4	稲敷市	73.4%	4	ひたちなか市	12.971	☆4	稲敷市	272.6%
5	鉾田市	72.2%	5	水戸市	12.816	☆5	北茨城市	224.8%
6	桜川市	70.9%	6	鹿嶋市	12.810	☆6	結城郡八千代町	217.7%
7	久慈郡大子町	59.3%	7	龍ヶ崎市	12.105	☆7	東茨城郡茨城町	187.1%
8	北茨城市	55.6%	8	土浦市	11.902	☆8	神栖市	165.2%
9	小美玉市	52.1%	9	守谷市	11.813	☆9	猿島郡五霞町	131.1%
10	笠間市	51.2%	10	高萩市	10.853	☆10	筑西市	126.2%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生+農林水産業用エネルギー需要で割った値です。

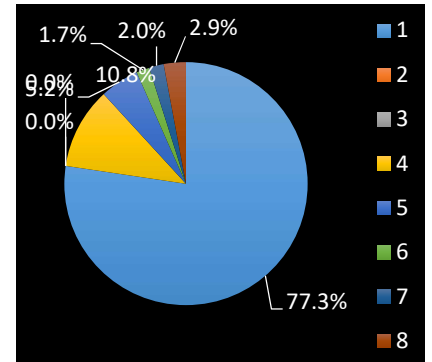
※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

栃木県

2018年度 34,473TJ 対前年度比 114.7%

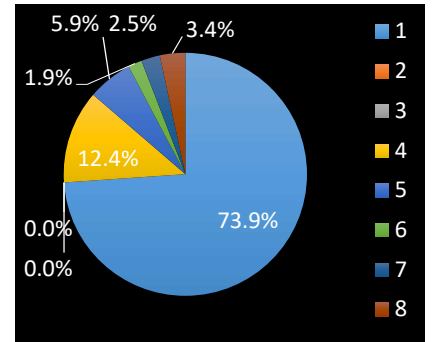


再生可能エネルギー供給状況

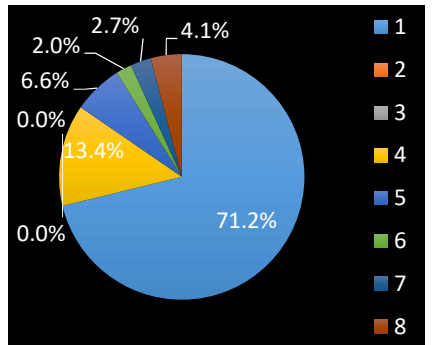
2019年3月末の設備状況をもとに2018年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

2017年度 30,048TJ 対前年度比 109.6%



2016年度 27,410TJ



エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	26,657TJ	5	4	9	77.3%
2 風力発電	0TJ	42	42	42	0.0%
3 地熱発電	0TJ	14	14	14	0.0%
○ 4 小水力発電	3,734TJ	11	19	12	10.8%
5 バイオマス発電	1,796TJ	22	20	21	5.2%
6 太陽熱利用	598TJ	26	26	28	1.7%
7 地熱利用	676TJ	11	14	7	2.0%
8. バイオマス熱利用	1,011TJ	23	23	26	2.9%
合計(供給量)	34,473TJ	11			
再生可能エネルギー自給率			28.18%	再エネ自給率ランク	9
食料自給率			63.0%	食料自給率ランク	14
供給密度(TJ/km ²)			5.380	供給密度ランク	12
民生+農林水産業用エネルギー需要(再エネ熱含む)				122,341TJ	
区域面積				6,408km ²	

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	塩谷郡塩谷町	163.3%	1	下都賀郡壬生町	12.837	☆1	芳賀郡芳賀町	317.5%
☆2	那須郡那珂川町	128.6%	2	宇都宮市	9.321	☆2	塩谷郡塩谷町	282.4%
☆3	那須烏山市	105.4%	3	足利市	9.102	☆3	那須郡那須町	221.3%
4	那須郡那須町	76.2%	4	下都賀郡野木町	9.003	☆4	芳賀郡市貝町	214.8%
5	日光市	73.3%	5	下野市	8.415	☆5	大田原市	201.2%
6	芳賀郡益子町	56.7%	6	佐野市	8.345	☆6	塩谷郡高根沢町	177.7%
7	那須塩原市	53.5%	7	小山市	8.322	☆7	さくら市	153.5%
8	矢板市	49.3%	8	那須烏山市	7.826	☆8	那須郡那珂川町	153.0%
9	芳賀郡市貝町	44.2%	9	栃木市	7.406	☆9	那須烏山市	132.7%
10	佐野市	41.9%	10	河内郡上三川町	7.254	☆10	那須塩原市	116.0%

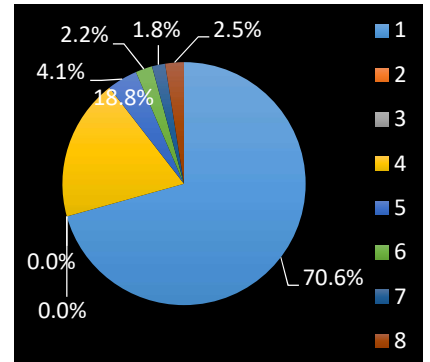
※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生+農林水産業用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
 ※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地球食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

群馬県

2018年度 36,609TJ 対前年度比 113.1%

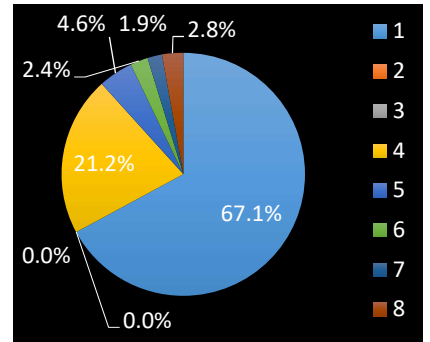


再生可能エネルギー供給状況

2019年3月末の設備状況をもとに2018年度について推計しました。

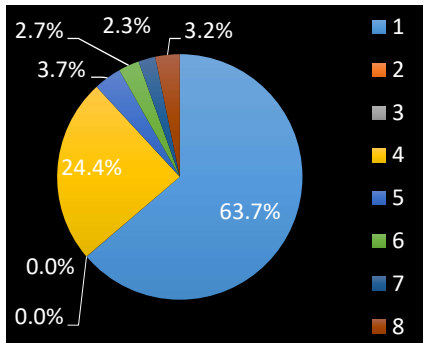
主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

2017年度 32,363TJ 対前年度比 115.3%



エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	25,863TJ	8	1	10	70.6%
2 風力発電	5TJ	38	38	38	0.0%
3 地熱発電	0TJ	14	14	14	0.0%
○ 4 小水力発電	6,884TJ	4	6	3	18.8%
5 バイオマス発電	1,484TJ	26	24	26	4.1%
6 太陽熱利用	817TJ	16	15	17	2.2%
7 地熱利用	642TJ	12	12	8	1.8%
8.バイオマス熱利用	913TJ	29	24	27	2.5%
合計(供給量)	36,609TJ	8			
再生可能エネルギー自給率			32.24%	再エネ自給率ランク	5
食料自給率			29.9%	食料自給率ランク	32
供給密度(TJ/km ²)			5.754	供給密度ランク	11
民生+農林水産業用エネルギー需要(再エネ熱含む)				113,561TJ	
区域面積				6,362km ²	

2016年度 28,077TJ



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	利根郡片品村	478.8%	1	前橋市	20.258	☆1	利根郡昭和村	354.3%
☆2	吾妻郡高山村	257.8%	2	伊勢崎市	20.053	☆2	吾妻郡嬭恋村	250.9%
☆3	利根郡昭和村	236.9%	3	太田市	19.374	☆3	邑楽郡板倉町	230.5%
☆4	吾妻郡嬭恋村	227.7%	4	邑楽郡大泉町	19.315	☆4	吾妻郡長野原町	166.0%
☆5	吾妻郡中之条町	138.2%	5	邑楽郡邑楽町	13.714	☆5	利根郡川場村	145.6%
☆6	吾妻郡東吾妻町	121.2%	6	利根郡昭和村	11.904	6	邑楽郡千代田町	98.7%
☆7	吾妻郡長野原町	119.8%	7	佐波郡玉村町	11.499	7	吾妻郡高山村	94.3%
☆8	利根郡みなかみ町	102.4%	8	邑楽郡千代田町	11.337	8	吾妻郡東吾妻町	89.3%
9	邑楽郡千代田町	49.5%	9	館林市	10.684	9	邑楽郡明和町	78.9%
10	安中市	48.0%	10	北群馬郡吉岡町	9.619	10	邑楽郡邑楽町	74.3%

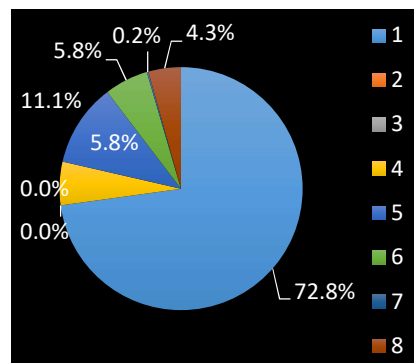
※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生+農林水産業用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
 ※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

埼玉県

2018年度 27,018TJ 対前年度比 102.9%

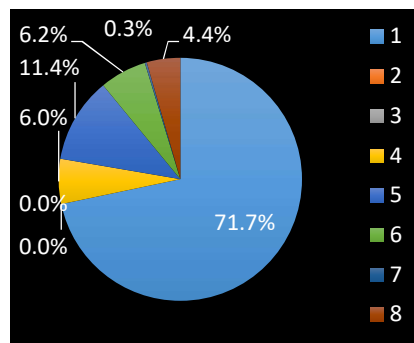


再生可能エネルギー供給状況

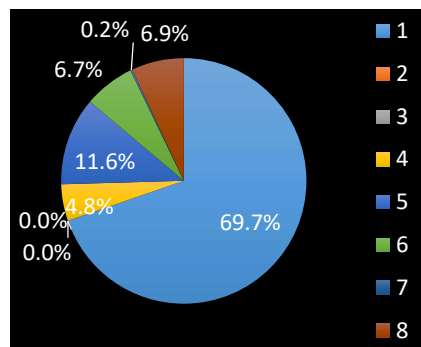
2019年3月末の設備状況をもとに2018年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

2017年度 26,263TJ 対前年度比 107.6%



2016年度 24,408TJ



エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	19,668TJ	12	37	5	72.8%
2 風力発電	0TJ	42	42	42	0.0%
3 地熱発電	0TJ	14	14	14	0.0%
4 小水力発電	1,567TJ	28	40	18	5.8%
○ 5 バイオマス発電	2,986TJ	14	40	6	11.1%
6 太陽熱利用	1,571TJ	3	28	5	5.8%
7 地熱利用	61TJ	34	39	33	0.2%
8. バイオマス熱利用	1,165TJ	17	41	10	4.3%
合計(供給量)	27,018TJ	17			
再生可能エネルギー自給率			7.08%	再エネ自給率ランク	43
食料自給率			9.8%	食料自給率ランク	44
供給密度(TJ/km ²)			7.114	供給密度ランク	7
民生+農林水産業用エネルギー需要(再エネ熱含む)				381,515TJ	
区域面積				3,798km ²	

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
1	児玉郡美里町	68.3%	1	ふじみ野市	21.316	☆1	児玉郡美里町	104.3%
2	秩父市	63.6%	2	戸田市	17.833	☆2	比企郡川島町	102.4%
3	児玉郡神川町	55.7%	3	川口市	16.673	3	比企郡吉見町	83.3%
4	比企郡吉見町	39.7%	4	さいたま市	13.862	4	加須市	74.9%
5	比企郡川島町	28.5%	5	三郷市	13.495	5	羽生市	55.1%
6	比企郡鳩山町	28.5%	6	熊谷市	13.479	6	児玉郡神川町	50.9%
7	本庄市	26.0%	7	本庄市	13.412	7	行田市	49.4%
8	秩父郡東秩父村	22.9%	8	蕨市	12.447	8	児玉郡上里町	46.3%
9	羽生市	22.8%	9	八潮市	11.850	9	北葛飾郡杉戸町	38.7%
10	比企郡滑川町	21.5%	10	羽生市	11.767	10	幸手市	37.6%

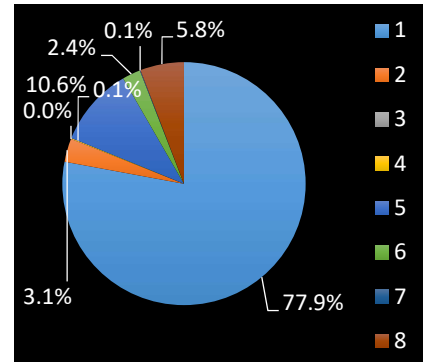
※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生+農林水産業用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
 ※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地球食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

千葉県

2018年度 40,354TJ 対前年度比 113.0%

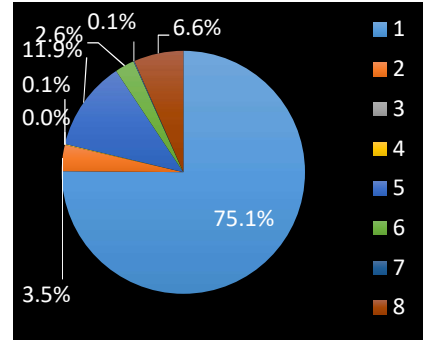


再生可能エネルギー供給状況

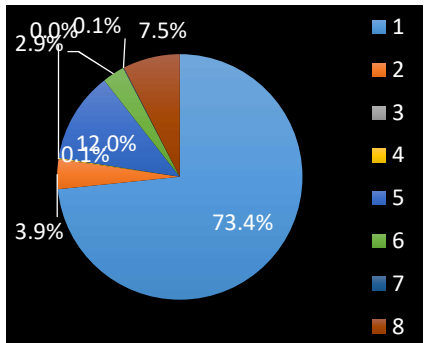
2019年3月末の設備状況をもとに2018年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

2017年度 35,713TJ 対前年度比 112.0%



2016年度 31,898TJ



エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	31,434TJ	3	28	4	77.9%
2 風力発電	1,259TJ	18	25	16	3.1%
3 地熱発電	0TJ	14	14	14	0.0%
4 小水力発電	44TJ	45	45	46	0.1%
○ 5 バイオマス発電	4,258TJ	9	29	5	10.6%
6 太陽熱利用	970TJ	11	34	10	2.4%
7 地熱利用	29TJ	40	43	40	0.1%
8.バイオマス熱利用	2,361TJ	6	30	6	5.8%
合計(供給量)	40,354TJ	5			
再生可能エネルギー自給率			10.94%	再エネ自給率ランク	36
食料自給率			24.9%	食料自給率ランク	34
供給密度(TJ/km ²)			7.824	供給密度ランク	6
民生+農林水産業用エネルギー需要(再エネ熱含む)				368,925TJ	
区域面積				5,157km ²	

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
1	香取郡多古町	67.7%	1	流山市	24.586	☆1	香取郡多古町	306.7%
2	富津市	59.5%	2	袖ヶ浦市	23.320	☆2	香取市	237.4%
3	長生郡長柄町	59.0%	3	八街市	16.485	☆3	山武郡芝山町	219.6%
4	山武郡芝山町	54.1%	4	銚子市	15.922	☆4	香取郡東庄町	207.4%
5	長生郡睦沢町	53.6%	5	印旛郡酒々井町	15.385	☆5	匝瑳市	203.1%
6	長生郡長生村	51.0%	6	市川市	15.181	☆6	山武郡横芝光町	187.6%
7	夷隅郡大多喜町	49.7%	7	浦安市	14.773	☆7	長生郡長南町	179.6%
8	袖ヶ浦市	47.9%	8	船橋市	13.828	☆8	旭市	173.8%
9	山武市	46.6%	9	習志野市	13.467	☆9	香取郡神崎町	157.4%
10	香取市	42.9%	10	市原市	13.223	☆10	長生郡白子町	134.7%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生+農林水産業用エネルギー需要で割った値です。

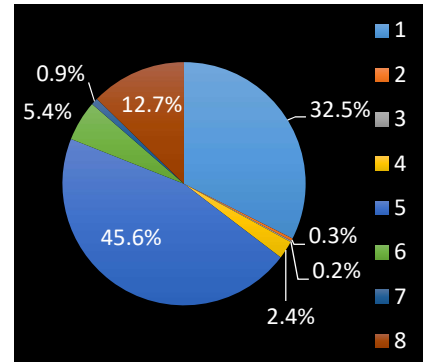
※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

東京都

2018年度 21,248TJ 対前年度比 103.1%



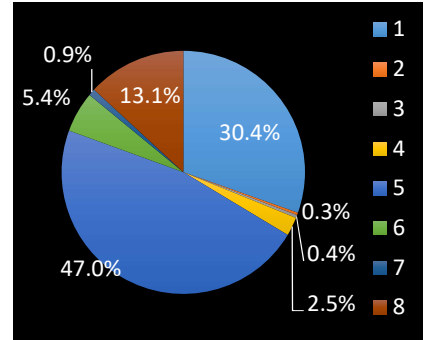
再生可能エネルギー供給状況

2019年3月末の設備状況をもとに2018年度について推計しました。

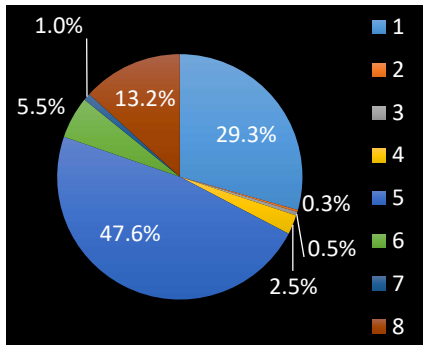
主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	6,896TJ	34	47	15	32.5%
2 風力発電	72TJ	33	37	30	0.3%
3 地熱発電	39TJ	8	9	7	0.2%
4 小水力発電	510TJ	40	44	31	2.4%
◎ 5 バイオマス発電	9,693TJ	1	36	1	45.6%
6 太陽熱利用	1,146TJ	9	45	3	5.4%
7 地熱利用	192TJ	25	38	11	0.9%
○ 8 バイオマス熱利用	2,701TJ	4	44	2	12.7%
合計(供給量)	21,248TJ	26			
再生可能エネルギー自給率			1.91%	再エネ自給率ランク 47	
食料自給率			0.6%	食料自給率ランク 47	
供給密度(TJ/km ²)			9.744	供給密度ランク 3	
民生+農林水産業用エネルギー需要(再エネ熱含む)				1,115,196TJ	
区域面積				2,181km ²	

2017年度 20,612TJ 対前年度比 103.1%



2016年度 19,988TJ



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	西多摩郡奥多摩町	119.5%	1	中央区	62.264	☆1	青ヶ島村	751.6%
2	神津島村	18.6%	2	江東区	60.693	2	八丈町	70.6%
3	八丈町	17.7%	3	港区	45.128	3	神津島村	35.3%
4	稲城市	13.0%	4	豊島区	38.559	4	利島村	16.4%
5	新島村	11.6%	5	墨田区	35.226	5	小笠原村	14.1%
6	御蔵島村	9.7%	6	東久留米市	32.462	6	三宅村	10.8%
7	三宅村	8.4%	7	稲城市	29.267	7	あきる野市	9.6%
8	東久留米市	8.3%	8	品川区	27.196	8	御蔵島村	6.5%
9	大島町	6.3%	9	多摩市	27.054	9	新島村	4.6%
10	西多摩郡瑞穂町	6.2%	10	世田谷区	23.370	10	大島町	3.8%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生+農林水産業用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
 ※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

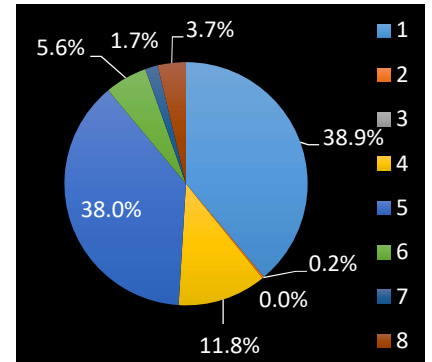
※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

神奈川県

2018年度 25,188TJ 対前年度比 104.1%

再生可能エネルギー供給状況

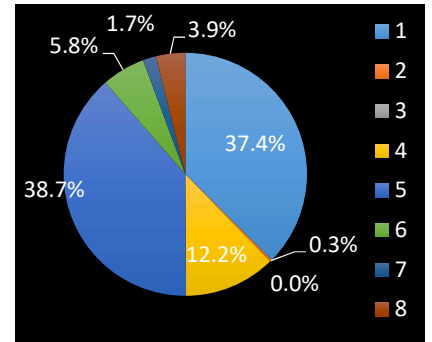
2019年3月末の設備状況をもとに2018年度について推計しました。



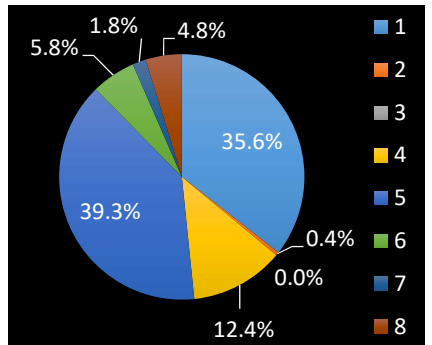
主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	9,806TJ	26	46	11	38.9%
2 風力発電	59TJ	35	35	31	0.2%
3 地熱発電	0TJ	14	14	14	0.0%
○ 4 小水力発電	2,974TJ	18	36	2	11.8%
◎ 5 バイオマス発電	9,563TJ	2	14	2	38.0%
6 太陽熱利用	1,416TJ	5	33	2	5.6%
7 地熱利用	426TJ	17	30	5	1.7%
8.バイオマス熱利用	944TJ	27	45	8	3.7%
合計(供給量)	25,188TJ	20			
再生可能エネルギー自給率			4.97%	再エネ自給率ランク	45
食料自給率			2.1%	食料自給率ランク	45
供給密度(TJ/km ²)			10.425	供給密度ランク	2
民生+農林水産業用エネルギー需要(再エネ熱含む)				506,394TJ	
区域面積				2,416km ²	

2017年度 24,197TJ 対前年度比 101.3%



2016年度 23,894TJ



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	足柄上郡山北町	268.0%	1	川崎市	46.773	1	三浦市	77.6%
2	足柄下郡箱根町	40.1%	2	平塚市	18.551	2	愛甲郡清川村	22.5%
3	南足柄市	24.6%	3	座間市	17.582	3	足柄上郡中井町	21.1%
4	足柄上郡中井町	22.9%	4	大和市	16.541	4	足柄下郡真鶴町	15.6%
5	足柄上郡大井町	21.9%	5	海老名市	15.254	5	足柄上郡大井町	13.2%
6	足柄下郡湯河原町	10.2%	6	茅ヶ崎市	15.193	6	足柄上郡開成町	12.4%
7	平塚市	8.8%	7	足柄上郡大井町	14.853	7	平塚市	11.5%
8	秦野市	8.4%	8	綾瀬市	11.907	8	伊勢原市	10.3%
9	川崎市	8.2%	9	横浜市	11.554	9	南足柄市	7.7%
10	愛甲郡愛川町	7.9%	10	足柄下郡箱根町	11.055	10	足柄上郡山北町	7.5%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生+農林水産業用エネルギー需要で割った値です。

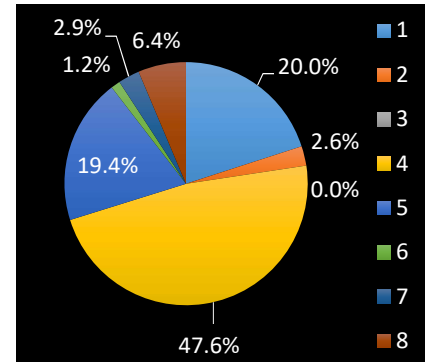
※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

新潟県

2018年度 16,829TJ 対前年度比 104.3%



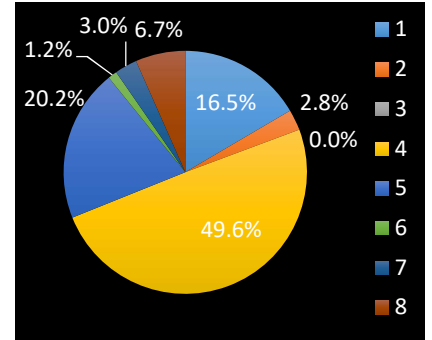
再生可能エネルギー供給状況

2019年3月末の設備状況をもとに2018年度について推計しました。

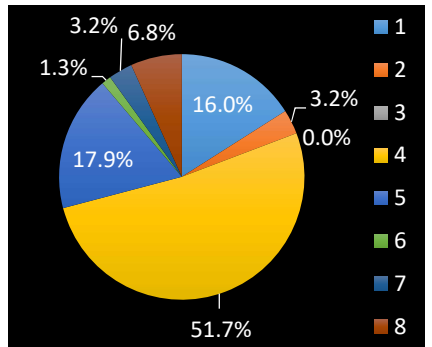
主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	3,368TJ	42	44	45	20.0%
2 風力発電	438TJ	27	26	29	2.6%
3 地熱発電	0TJ	14	14	14	0.0%
◎ 4 小水力発電	8,003TJ	3	7	10	47.6%
○ 5 バイオマス発電	3,262TJ	12	11	24	19.4%
6 太陽熱利用	203TJ	39	40	42	1.2%
7 地熱利用	483TJ	15	20	24	2.9%
8 バイオマス熱利用	1,073TJ	20	26	35	6.4%
合計(供給量)	16,829TJ	31			
再生可能エネルギー自給率			11.77%	再エネ自給率ランク 35	
食料自給率			96.0%	食料自給率ランク 5	
供給密度(TJ/km ²)			1.337	供給密度ランク 45	
民生+農林水産業用エネルギー需要(再エネ熱含む)				142,962TJ	
区域面積				12,584km ²	

2017年度 16,129TJ 対前年度比 104.3%



2016年度 15,471TJ



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	糸魚川市	163.9%	1	糸魚川市	5.398	☆1	中魚沼郡津南町	314.3%
2	中魚沼郡津南町	94.1%	2	新潟市	4.527	☆2	岩船郡関川村	301.1%
3	東蒲原郡阿賀町	78.0%	3	妙高市	3.337	☆3	阿賀野市	230.0%
4	妙高市	74.5%	4	胎内市	3.184	☆4	西蒲原郡弥彦村	201.2%
5	胎内市	55.4%	5	中魚沼郡津南町	2.874	☆5	胎内市	192.4%
6	魚沼市	51.1%	6	北蒲原郡聖籠町	2.520	☆6	佐渡市	188.7%
7	南魚沼郡湯沢町	48.9%	7	南魚沼市	1.461	☆7	村上市	174.5%
8	南魚沼市	25.4%	8	三条市	1.440	☆8	刈羽郡刈羽村	172.5%
9	三島郡出雲崎町	20.0%	9	阿賀野市	1.315	☆9	新発田市	156.3%
10	岩船郡関川村	16.6%	10	新発田市	1.159	☆10	南魚沼市	151.4%

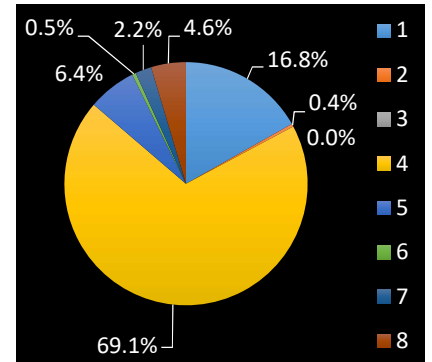
※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生+農林水産業用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
 ※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

富山県

2018年度 18,571TJ 対前年度比 102.7%

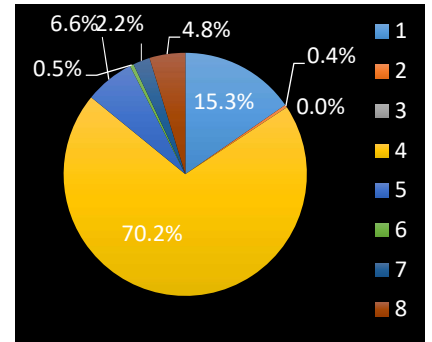


再生可能エネルギー供給状況

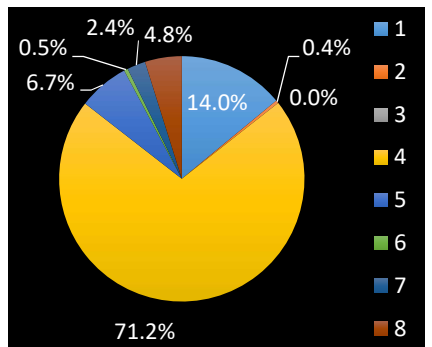
2019年3月末の設備状況をもとに2018年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

2017年度 18,076TJ 対前年度比 101.7%



2016年度 17,769TJ



エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
○ 1 太陽光発電	3,123TJ	44	38	39	16.8%
2 風力発電	69TJ	34	33	34	0.4%
3 地熱発電	0TJ	14	14	14	0.0%
◎ 4 小水力発電	12,829TJ	2	1	1	69.1%
5 バイオマス発電	1,193TJ	33	19	20	6.4%
6 太陽熱利用	93TJ	44	41	41	0.5%
7 地熱利用	403TJ	18	13	9	2.2%
8. バイオマス熱利用	860TJ	32	18	19	4.6%
合計(供給量)	18,571TJ	28			
再生可能エネルギー自給率			25.90%	再エネ自給率ランク	13
食料自給率			72.4%	食料自給率ランク	9
供給密度(TJ/km ²)			4.372	供給密度ランク	17
民生+農林水産業用エネルギー需要(再エネ熱含む)				71,696TJ	
区域面積				4,248km ²	

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	下新川郡朝日町	122.8%	1	滑川市	14.991	☆1	下新川郡入善町	257.1%
2	中新川郡立山町	93.0%	2	魚津市	9.484	☆2	南砺市	194.7%
3	魚津市	67.3%	3	高岡市	7.032	☆3	下新川郡朝日町	177.9%
4	中新川郡上市町	62.8%	4	富山市	6.450	☆4	小矢部市	160.7%
5	黒部市	61.8%	5	射水市	6.173	☆5	中新川郡立山町	156.4%
6	滑川市	47.2%	6	下新川郡入善町	6.135	☆6	砺波市	133.8%
7	下新川郡入善町	33.5%	7	下新川郡朝日町	4.093	7	中新川郡上市町	92.2%
8	富山市	25.0%	8	中新川郡立山町	3.900	8	中新川郡舟橋村	91.8%
9	小矢部市	14.0%	9	黒部市	3.634	9	黒部市	89.9%
10	射水市	12.5%	10	中新川郡上市町	2.859	10	滑川市	84.5%

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生+農林水産業用エネルギー需要で割った値です。

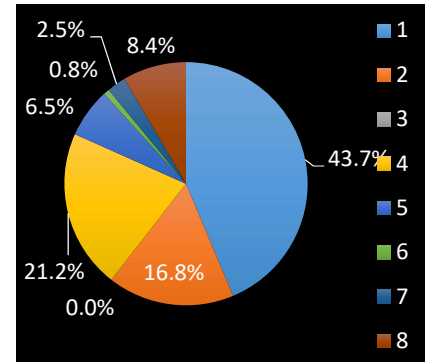
※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地球食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

石川県

2018年度 12,571TJ 対前年度比 114.6%



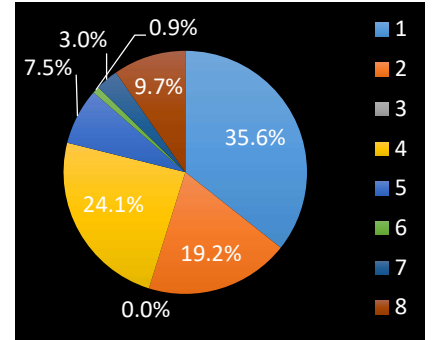
再生可能エネルギー供給状況

2019年3月末の設備状況をもとに2018年度について推計しました。

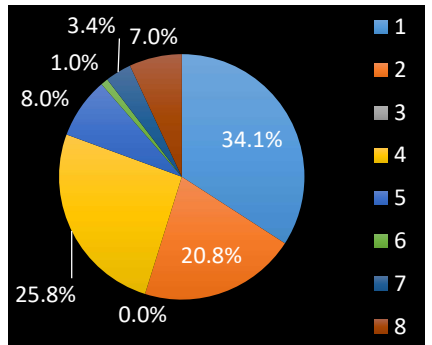
主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	5,492TJ	38	34	34	43.7%
○ 2 風力発電	2,113TJ	11	11	4	16.8%
3 地熱発電	0TJ	14	14	14	0.0%
◎ 4 小水力発電	2,665TJ	20	17	9	21.2%
5 バイオマス発電	822TJ	37	35	30	6.5%
6 太陽熱利用	101TJ	43	42	40	0.8%
7 地熱利用	317TJ	19	19	15	2.5%
8.バイオマス熱利用	1,061TJ	22	15	15	8.4%
合計(供給量)	12,571TJ	35			
再生可能エネルギー自給率			15.17%	再エネ自給率ランク 30	
食料自給率			44.4%	食料自給率ランク 22	
供給密度(TJ/km ²)			3.003	供給密度ランク 25	
民生+農林水産業用エネルギー需要(再エネ熱含む)				82,875TJ	
区域面積				4,186km ²	

2017年度 10,969TJ 対前年度比 107.1%



2016年度 10,238TJ



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	羽咋郡宝達志水町	202.7%	1	羽咋郡宝達志水町	11.739	☆1	能美郡川北町	188.5%
☆2	珠洲市	105.5%	2	野々市市	6.143	☆2	羽咋郡志賀町	173.0%
3	羽咋郡志賀町	96.3%	3	河北郡内灘町	4.992	☆3	羽咋郡宝達志水町	145.3%
4	白山市	39.9%	4	羽咋郡志賀町	4.786	☆4	羽咋市	143.7%
5	七尾市	31.6%	5	能美郡川北町	4.707	☆5	鳳珠郡能登町	129.8%
6	鹿島郡中能登町	29.8%	6	かほく市	4.664	☆6	珠洲市	122.6%
7	輪島市	23.9%	7	七尾市	4.468	☆7	鹿島郡中能登町	114.6%
8	能美郡川北町	22.8%	8	珠洲市	4.059	☆8	輪島市	104.2%
9	羽咋市	21.6%	9	白山市	3.561	9	鳳珠郡穴水町	96.7%
10	かほく市	16.7%	10	羽咋市	3.448	10	加賀市	71.8%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生+農林水産業用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地球食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

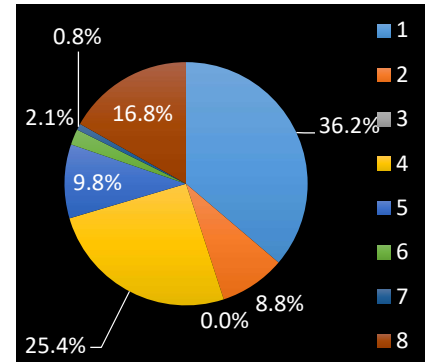
※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

福井県

2018年度 6,334TJ 対前年度比 105.8%

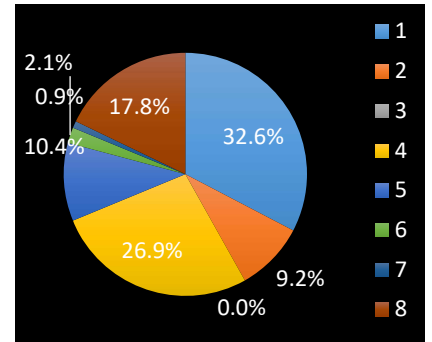
再生可能エネルギー供給状況

2019年3月末の設備状況をもとに2018年度について推計しました。

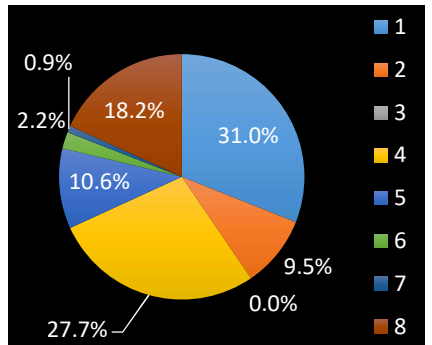


主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

2017年度 5,985TJ 対前年度比 102.9%



2016年度 5,817TJ



エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	2,294TJ	47	40	41	36.2%
2 風力発電	555TJ	25	21	22	8.8%
3 地熱発電	0TJ	14	14	14	0.0%
◎ 4 小水力発電	1,611TJ	27	21	19	25.4%
5 バイオマス発電	621TJ	42	34	39	9.8%
6 太陽熱利用	133TJ	41	36	38	2.1%
7 地熱利用	53TJ	37	29	36	0.8%
○ 8.バイオマス熱利用	1,067TJ	21	8	14	16.8%
合計(供給量)	6,334TJ	46			
再生可能エネルギー自給率			10.47%	再エネ自給率ランク 40	
食料自給率			62.0%	食料自給率ランク 15	
供給密度(TJ/km ²)			1.512	供給密度ランク 43	
民生+農林水産業用エネルギー需要(再エネ熱含む)				60,474TJ	
区域面積				4,191km ²	

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
1	大野市	63.7%	1	あわら市	6.654	☆1	今立郡池田町	185.5%
2	あわら市	39.3%	2	坂井市	3.474	☆2	大野市	163.1%
3	今立郡池田町	34.6%	3	福井市	2.985	☆3	三方上中郡若狭町	142.1%
4	勝山市	25.9%	4	敦賀市	2.585	☆4	あわら市	136.8%
5	三方郡美浜町	13.8%	5	鯖江市	2.093	☆5	南条郡南越前町	123.8%
6	坂井市	13.2%	6	大野市	1.614	☆6	三方郡美浜町	102.4%
7	敦賀市	10.8%	7	勝山市	1.469	☆7	大飯郡おおい町	101.0%
8	福井市	6.6%	8	越前市	0.798	8	坂井市	96.8%
9	南条郡南越前町	4.3%	9	三方郡美浜町	0.720	9	勝山市	87.6%
10	鯖江市	4.0%	10	吉田郡永平寺町	0.516	10	丹生郡越前町	82.6%

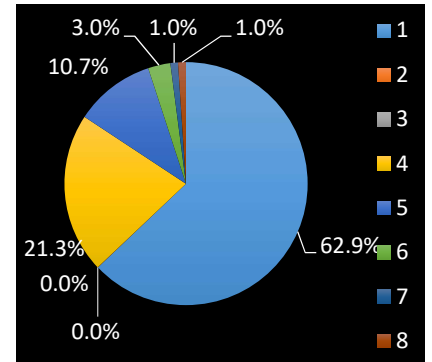
※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生+農林水産業用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
 ※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

山梨県

2018年度 13,555TJ 対前年度比 115.2%



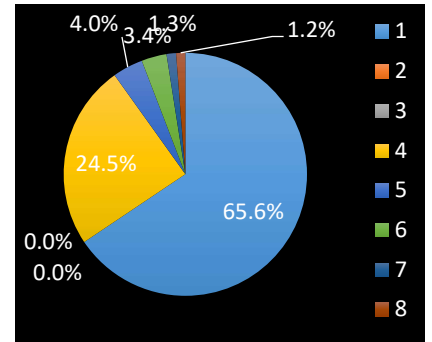
再生可能エネルギー供給状況

2019年3月末の設備状況をもとに2018年度について推計しました。

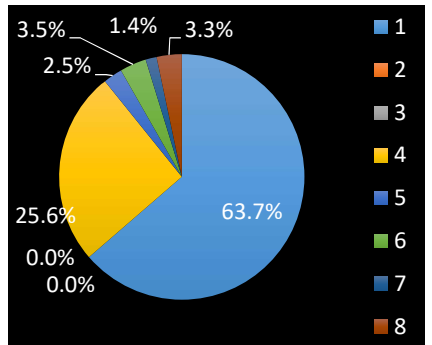
主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	8,529TJ	29	10	25	62.9%
2 風力発電	0TJ	41	41	41	0.0%
3 地熱発電	0TJ	14	14	14	0.0%
◎ 4 小水力発電	2,891TJ	19	8	8	21.3%
○ 5 バイオマス発電	1,450TJ	27	9	16	10.7%
6 太陽熱利用	403TJ	32	11	29	3.0%
7 地熱利用	140TJ	30	24	27	1.0%
8 バイオマス熱利用	141TJ	45	42	46	1.0%
合計(供給量)	13,555TJ	33			
再生可能エネルギー自給率			25.55%	再エネ自給率ランク 15	
食料自給率			18.3%	食料自給率ランク 38	
供給密度(TJ/km ²)			3.039	供給密度ランク 24	
民生+農林水産業用エネルギー需要(再エネ熱含む)				53,059TJ	
区域面積				4,461km ²	

2017年度 11,763TJ 対前年度比 104.6%



2016年度 11,246TJ



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	南巨摩郡早川町	462.8%	1	中巨摩郡昭和町	16.661	☆1	北杜市	100.2%
☆2	北杜市	104.2%	2	甲斐市	9.189	2	韮崎市	50.4%
3	大月市	88.7%	3	南都留郡忍野村	8.966	3	甲州市	26.7%
4	甲州市	50.9%	4	中央市	8.646	4	北都留郡丹波山村	24.4%
5	南都留郡忍野村	47.3%	5	甲府市	6.443	5	中央市	24.0%
6	韮崎市	45.6%	6	韮崎市	5.594	6	南巨摩郡南部町	22.6%
7	山梨市	42.8%	7	笛吹市	4.973	7	笛吹市	19.9%
8	南都留郡鳴沢村	39.7%	8	北杜市	4.767	8	山梨市	18.9%
9	南アルプス市	32.9%	9	南アルプス市	4.169	9	南都留郡鳴沢村	18.5%
10	西八代郡市川三郷町	30.1%	10	大月市	4.104	10	南アルプス市	18.3%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生+農林水産業用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
 ※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

長野県

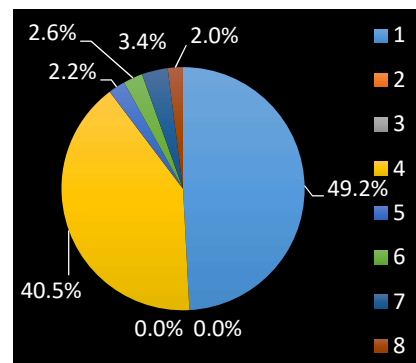
2018年度 34,629TJ 対前年度比 108.7%

再生可能エネルギー供給状況

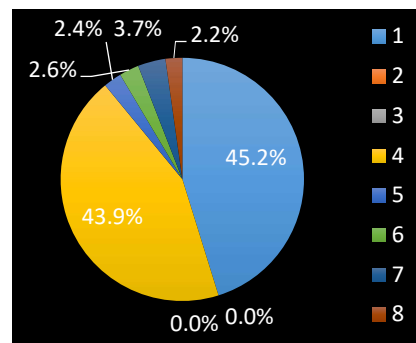
2019年3月末の設備状況をもとに2018年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

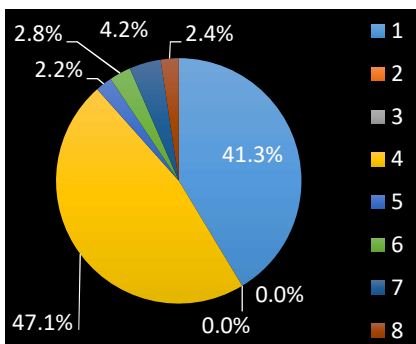
エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	17,027TJ	14	18	36	49.2%
2 風力発電	0TJ	42	42	42	0.0%
3 地熱発電	0TJ	14	14	14	0.0%
◎ 4 小水力発電	14,029TJ	1	2	4	40.5%
5 バイオマス発電	777TJ	38	44	46	2.2%
6 太陽熱利用	905TJ	13	18	34	2.6%
7 地熱利用	1,189TJ	7	6	12	3.4%
8.バイオマス熱利用	702TJ	37	35	42	2.0%
合計(供給量)	34,629TJ	10			
再生可能エネルギー自給率			25.56%	再エネ自給率ランク 14	
食料自給率			49.3%	食料自給率ランク 19	
供給密度(TJ/km ²)			2.553	供給密度ランク 33	
民生+農林水産業用エネルギー需要(再エネ熱含む)				135,461TJ	
区域面積				13,562km ²	



2017年度 31,862TJ 対前年度比 108.3%



2016年度 29,426TJ



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	下伊那郡大鹿村	1069.5%	1	諏訪市	9.382	☆1	南佐久郡川上村	615.3%
☆2	下伊那郡平谷村	1064.4%	2	南佐久郡小海町	7.638	☆2	南佐久郡南牧村	586.8%
☆3	下水内郡栄村	563.9%	3	小諸市	7.416	☆3	下水内郡栄村	221.8%
☆4	南佐久郡小海町	283.7%	4	北佐久郡御代田町	5.972	☆4	下高井郡木島平村	218.8%
☆5	下伊那郡泰阜村	199.7%	5	上伊那郡飯島町	5.788	☆5	北佐久郡立科町	189.5%
☆6	北安曇郡小谷村	196.2%	6	上伊那郡南箕輪村	5.475	☆6	北安曇郡松川村	181.4%
☆7	下伊那郡阿南町	186.8%	7	下伊那郡平谷村	5.307	☆7	上水内郡信濃町	172.3%
☆8	下伊那郡阿智村	178.8%	8	安曇野市	4.918	☆8	諏訪郡原村	169.6%
☆9	小県郡長和町	164.4%	9	上高井郡小布施町	4.816	☆9	南佐久郡小海町	157.5%
☆10	南佐久郡佐久穂町	140.6%	10	東御市	4.701	☆10	飯山市	146.9%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生+農林水産業用エネルギー需要で割った値です。

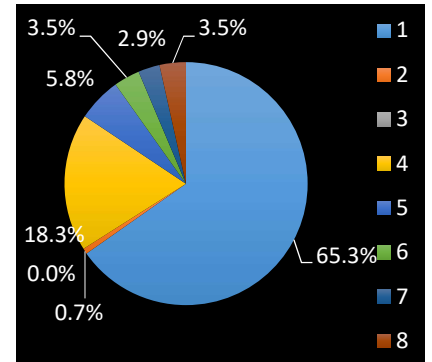
※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

岐阜県

2018年度 24,181TJ 対前年度比 110.0%



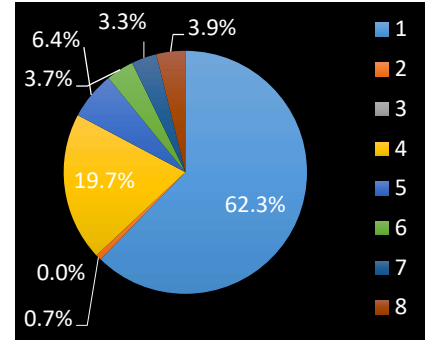
再生可能エネルギー供給状況

2019年3月末の設備状況をもとに2018年度について推計しました。

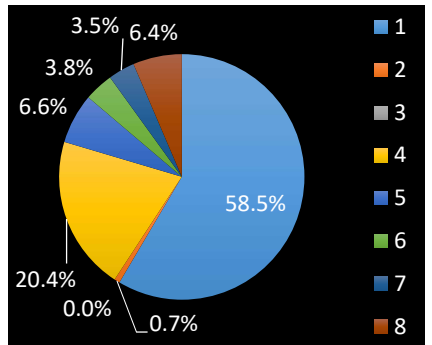
主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	15,778TJ	18	19	32	65.3%
2 風力発電	178TJ	30	30	33	0.7%
3 地熱発電	2TJ	11	11	11	0.0%
○ 4 小水力発電	4,436TJ	10	15	17	18.3%
5 バイオマス発電	1,404TJ	28	32	40	5.8%
6 太陽熱利用	845TJ	15	19	32	3.5%
7 地熱利用	691TJ	10	15	17	2.9%
8.バイオマス熱利用	847TJ	33	29	37	3.5%
合計(供給量)	24,181TJ	23			
再生可能エネルギー自給率			18.99%	再エネ自給率ランク 24	
食料自給率			23.1%	食料自給率ランク 35	
供給密度(TJ/km ²)			2.277	供給密度ランク 38	
民生+農林水産業用エネルギー需要(再エネ熱含む)				127,342TJ	
区域面積				10,621km ²	

2017年度 21,976TJ 対前年度比 105.4%



2016年度 20,848TJ



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
1	加茂郡富加町	91.7%	1	瑞穂市	27.586	☆1	海津市	130.1%
2	加茂郡川辺町	81.9%	2	本巣郡北方町	16.971	☆2	安八郡輪之内町	116.6%
3	揖斐郡揖斐川町	78.1%	3	羽島郡岐南町	16.278	3	養老郡養老町	86.3%
4	恵那市	68.5%	4	加茂郡川辺町	15.491	4	加茂郡東白川村	64.0%
5	加茂郡白川町	63.7%	5	加茂郡富加町	13.361	5	加茂郡白川町	58.1%
6	加茂郡八百津町	53.6%	6	羽島郡笠松町	11.674	6	揖斐郡揖斐川町	55.8%
7	本巣市	47.6%	7	各務原市	11.348	7	郡上市	53.2%
8	美濃市	44.5%	8	安八郡神戸町	10.747	8	高山市	52.7%
9	飛騨市	44.4%	9	岐阜市	9.782	9	加茂郡富加町	50.3%
10	加茂郡東白川村	39.7%	10	羽島市	9.735	10	恵那市	49.7%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生+農林水産業用エネルギー需要で割った値です。

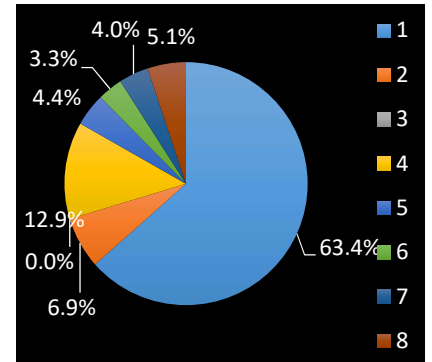
※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

静岡県

2018年度 40,880TJ 対前年度比 104.3%

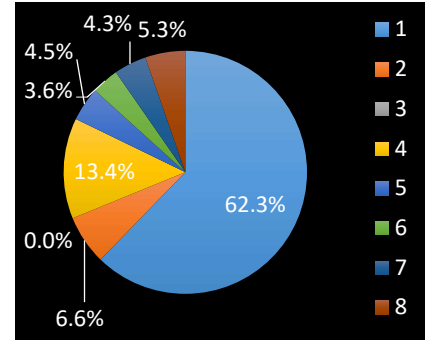


再生可能エネルギー供給状況

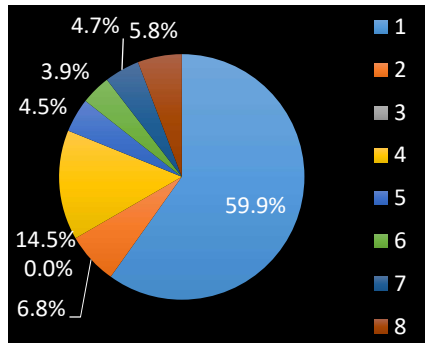
2019年3月末の設備状況をもとに2018年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

2017年度 39,203TJ 対前年度比 109.3%



2016年度 35,855TJ



エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	25,933TJ	7	22	13	63.4%
2 風力発電	2,808TJ	7	17	9	6.9%
3 地熱発電	4TJ	9	10	10	0.0%
○ 4 小水力発電	5,280TJ	8	24	6	12.9%
5 バイオマス発電	1,784TJ	23	41	27	4.4%
6 太陽熱利用	1,356TJ	7	21	12	3.3%
7 地熱利用	1,619TJ	4	9	3	4.0%
8. バイオマス熱利用	2,095TJ	9	19	13	5.1%
合計(供給量)	40,880TJ	4			
再生可能エネルギー自給率			17.80%	再エネ自給率ランク	26
食料自給率			15.4%	食料自給率ランク	39
供給密度(TJ/km ²)			5.256	供給密度ランク	13
民生+農林水産業用エネルギー需要(再エネ熱含む)				229,604TJ	
区域面積				7,777km ²	

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	賀茂郡河津町	140.0%	1	榛原郡吉田町	16.291	1	焼津市	57.8%
☆2	賀茂郡南伊豆町	131.1%	2	御前崎市	16.006	2	御前崎市	48.5%
3	駿東郡小山町	93.6%	3	焼津市	14.020	3	周智郡森町	46.5%
4	賀茂郡東伊豆町	73.4%	4	牧之原市	13.308	4	沼津市	45.8%
5	牧之原市	61.3%	5	磐田市	12.520	5	袋井市	34.2%
6	御前崎市	57.4%	6	湖西市	12.211	6	牧之原市	31.4%
7	富士宮市	43.0%	7	袋井市	10.810	7	菊川市	31.0%
8	菊川市	40.2%	8	賀茂郡東伊豆町	10.476	8	駿東郡小山町	30.2%
9	伊豆市	37.1%	9	菊川市	10.258	9	掛川市	29.3%
10	湖西市	35.9%	10	熱海市	9.619	10	賀茂郡西伊豆町	26.7%

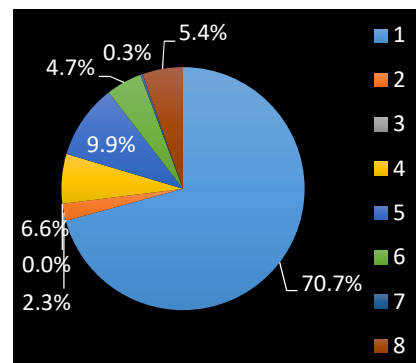
※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生+農林水産業用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
 ※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

愛知県

2018年度 47,241TJ 対前年度比 110.7%



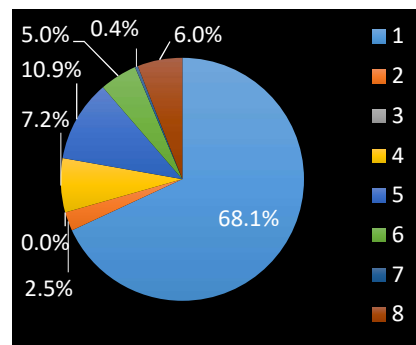
再生可能エネルギー供給状況

2019年3月末の設備状況をもとに2018年度について推計しました。

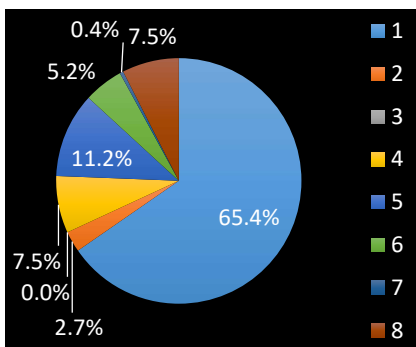
主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	33,418TJ	2	33	3	70.7%
2 風力発電	1,083TJ	19	28	18	2.3%
3 地熱発電	0TJ	14	14	14	0.0%
4 小水力発電	3,107TJ	16	33	11	6.6%
5 バイオマス発電	4,699TJ	7	33	4	9.9%
6 太陽熱利用	2,233TJ	1	25	4	4.7%
7 地熱利用	158TJ	28	35	28	0.3%
8. バイオマス熱利用	2,543TJ	5	31	4	5.4%
合計(供給量)	47,241TJ	2			
再生可能エネルギー自給率			10.57%	再エネ自給率ランク 39	
食料自給率			11.4%	食料自給率ランク 42	
供給密度(TJ/km ²)			9.138	供給密度ランク 4	
民生+農林水産業用エネルギー需要(再エネ熱含む)				447,076TJ	
区域面積				5,170km ²	

2017年度 42,694TJ 対前年度比 105.4%



2016年度 40,505TJ



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	田原市	113.6%	1	知多郡武豊町	43.058	☆1	海部郡飛島村	240.1%
2	知多郡武豊町	62.0%	2	名古屋市	22.244	☆2	知多郡南知多町	200.8%
3	知多郡美浜町	47.8%	3	高浜市	21.637	☆3	田原市	130.4%
4	新城市	42.3%	4	半田市	18.098	☆4	北設楽郡設楽町	114.2%
5	海部郡飛島村	39.5%	5	岩倉市	17.862	5	愛西市	64.8%
6	弥富市	28.5%	6	北名古屋市	17.702	6	弥富市	64.3%
7	知多郡阿久比町	26.1%	7	田原市	17.658	7	新城市	49.3%
8	豊田市	25.5%	8	一宮市	17.646	8	知多郡美浜町	41.4%
9	常滑市	22.7%	9	尾張旭市	17.583	9	西尾市	38.0%
10	愛西市	21.6%	10	海部郡大治町	17.010	10	碧南市	34.2%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生+農林水産業用エネルギー需要で割った値です。

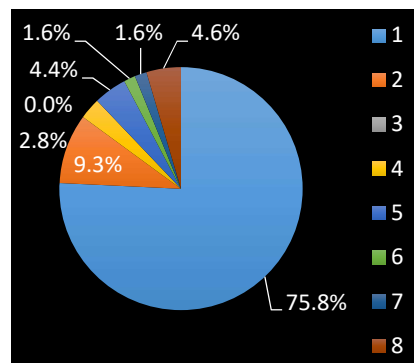
※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地球食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

三重県

2018年度 34,693TJ 対前年度比 122.5%

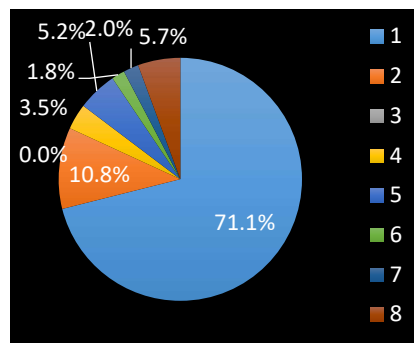


再生可能エネルギー供給状況

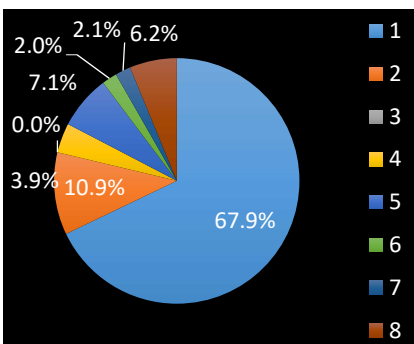
2019年3月末の設備状況をもとに2018年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

2017年度 28,314TJ 対前年度比 112.1%



2016年度 25,248TJ



エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	26,284TJ	6	2	8	75.8%
○ 2 風力発電	3,223TJ	6	9	3	9.3%
3 地熱発電	0TJ	14	14	14	0.0%
4 小水力発電	978TJ	36	32	36	2.8%
5 バイオマス発電	1,522TJ	25	26	23	4.4%
6 太陽熱利用	540TJ	27	27	27	1.6%
7 地熱利用	546TJ	14	17	10	1.6%
8.バイオマス熱利用	1,600TJ	11	13	12	4.6%
合計(供給量)	34,693TJ	9			
再生可能エネルギー自給率			28.93%	再エネ自給率ランク 7	
食料自給率			38.5%	食料自給率ランク 26	
供給密度(TJ/km ²)			6.008	供給密度ランク 10	
民生+農林水産業用エネルギー需要(再エネ熱含む)				119,934TJ	
区域面積				5,774km ²	

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	度会郡度会町	196.9%	1	三重郡川越町	135.930	☆1	度会郡南伊勢町	513.8%
☆2	桑名郡木曾岬町	160.7%	2	桑名郡木曾岬町	38.486	☆2	鳥羽市	127.4%
☆3	多気郡大台町	123.9%	3	員弁郡東員町	17.688	☆3	度会郡玉城町	120.3%
☆4	多気郡多気町	111.5%	4	多気郡明和町	15.399	☆4	北牟婁郡紀北町	119.5%
5	伊賀市	74.5%	5	四日市市	13.339	☆5	桑名郡木曾岬町	119.3%
6	いなべ市	60.4%	6	鈴鹿市	12.990	☆6	多気郡明和町	101.5%
7	三重郡川越町	59.5%	7	三重郡朝日町	10.550	7	多気郡多気町	99.2%
8	多気郡明和町	53.4%	8	多気郡多気町	8.267	8	南牟婁郡御浜町	87.5%
9	鳥羽市	51.8%	9	津市	7.846	9	伊賀市	85.5%
10	北牟婁郡紀北町	43.8%	10	伊賀市	7.677	10	度会郡大紀町	82.2%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生+農林水産業用エネルギー需要で割った値です。

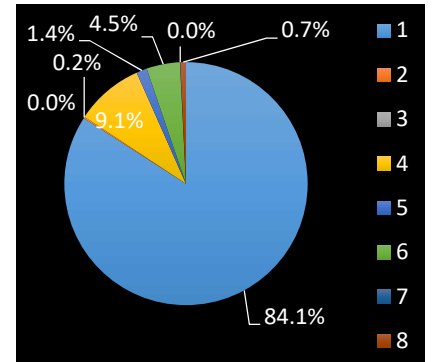
※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地球食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

滋賀県

2018年度 10,760TJ 対前年度比 113.4%



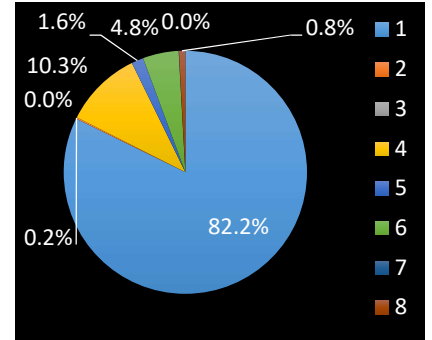
再生可能エネルギー供給状況

2019年3月末の設備状況をもとに2018年度について推計しました。

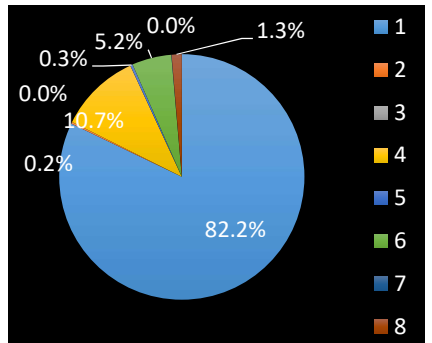
主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	9,048TJ	28	25	20	84.1%
2 風力発電	20TJ	36	34	36	0.2%
3 地熱発電	0TJ	14	14	14	0.0%
4 小水力発電	979TJ	35	30	29	9.1%
5 バイオマス発電	151TJ	47	47	47	1.4%
6 太陽熱利用	479TJ	28	23	19	4.5%
7 地熱利用	4TJ	44	45	44	0.0%
8 バイオマス熱利用	80TJ	47	47	47	0.7%
合計(供給量)	10,760TJ	41			
再生可能エネルギー自給率			11.84%	再エネ自給率ランク 34	
食料自給率			46.9%	食料自給率ランク 20	
供給密度(TJ/km ²)			2.678	供給密度ランク 30	
民生+農林水産業用エネルギー需要(再エネ熱含む)				90,918TJ	
区域面積				4,017km ²	

2017年度 9,490TJ 対前年度比 109.1%



2016年度 8,696TJ



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
1	蒲生郡日野町	45.5%	1	犬上郡豊郷町	9.609	☆1	蒲生郡竜王町	150.0%
2	米原市	33.0%	2	愛知郡愛荘町	8.089	☆2	犬上郡甲良町	127.1%
3	愛知郡愛荘町	28.9%	3	草津市	7.247	☆3	高島市	117.5%
4	甲賀市	26.7%	4	栗東市	7.127	☆4	東近江市	103.3%
5	高島市	25.1%	5	守山市	5.763	5	蒲生郡日野町	95.1%
6	蒲生郡竜王町	25.0%	6	犬上郡甲良町	5.051	6	愛知郡愛荘町	87.5%
7	犬上郡多賀町	23.6%	7	蒲生郡日野町	4.824	7	長浜市	83.7%
8	犬上郡甲良町	20.4%	8	湖南市	4.782	8	近江八幡市	80.2%
9	東近江市	20.0%	9	蒲生郡竜王町	4.530	9	犬上郡多賀町	74.2%
10	犬上郡豊郷町	16.3%	10	野洲市	3.957	10	犬上郡豊郷町	71.0%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生+農林水産業用エネルギー需要で割った値です。

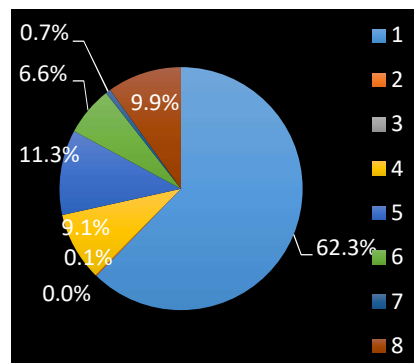
※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地球食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

京都府

2018年度 9,739TJ 対前年度比 108.7%

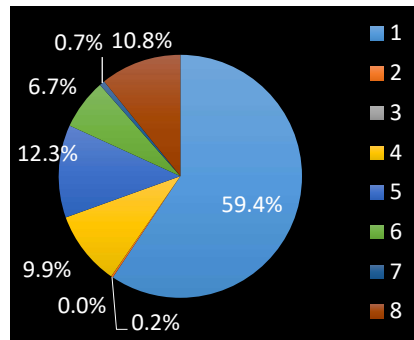


再生可能エネルギー供給状況

2019年3月末の設備状況をもとに2018年度について推計しました。

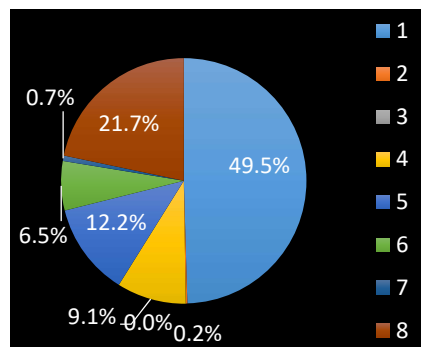
主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

2017年度 8,960TJ 対前年度比 96.3%



エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	6,064TJ	37	42	33	62.3%
2 風力発電	14TJ	37	36	37	0.1%
3 地熱発電	0TJ	14	14	14	0.0%
4 小水力発電	888TJ	38	37	33	9.1%
○ 5 バイオマス発電	1,103TJ	35	43	25	11.3%
6 太陽熱利用	638TJ	24	30	14	6.6%
7 地熱利用	66TJ	33	34	34	0.7%
8.バイオマス熱利用	965TJ	26	32	17	9.9%
合計(供給量)	9,739TJ	42			
再生可能エネルギー自給率			5.69%	再エネ自給率ランク 44	
食料自給率			11.4%	食料自給率ランク 43	
供給密度(TJ/km ²)			2.124	供給密度ランク 40	
民生+農林水産業用エネルギー需要(再エネ熱含む)				171,025TJ	
区域面積				4,585km ²	

2016年度 9,308TJ



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	相楽郡南山城村	141.8%	1	木津川市	72.947	☆1	与謝郡伊根町	182.6%
2	相楽郡笠置町	83.5%	2	城陽市	9.486	☆2	船井郡京丹波町	123.1%
3	船井郡京丹波町	68.4%	3	向日市	9.172	3	京丹後市	93.4%
4	綴喜郡宇治田原町	42.1%	4	相楽郡精華町	8.230	4	南丹市	90.2%
5	相楽郡和束町	19.1%	5	八幡市	6.928	5	綾部市	76.6%
6	綾部市	18.9%	6	長岡京市	5.362	6	相楽郡南山城村	57.9%
7	南丹市	18.0%	7	京田辺市	5.256	7	与謝郡与謝野町	55.3%
8	舞鶴市	17.3%	8	久世郡久御山町	4.824	8	宮津市	46.1%
9	与謝郡伊根町	17.2%	9	宇治市	4.823	9	福知山市	40.6%
10	木津川市	12.7%	10	京都市	3.963	10	亀岡市	35.7%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生+農林水産業用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
 ※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

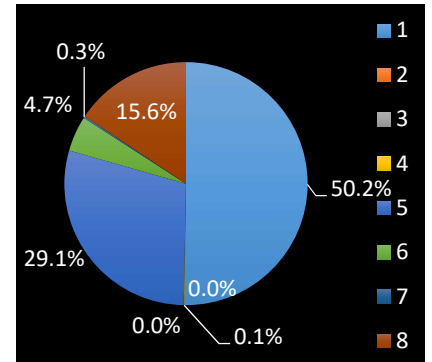
※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

大阪府

2018年度 25,871TJ 対前年度比 105.7%

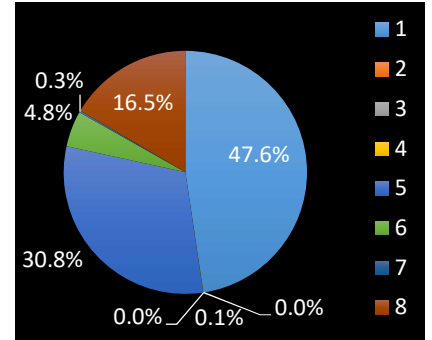
再生可能エネルギー供給状況

2019年3月末の設備状況をもとに2018年度について推計しました。

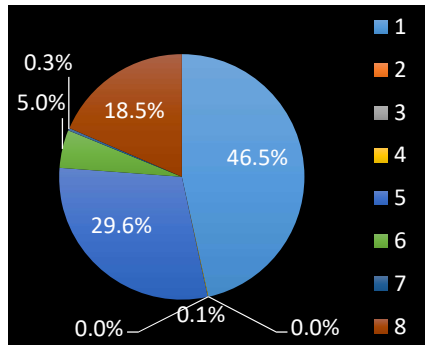


主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

2017年度 24,475TJ 対前年度比 106.6%



2016年度 22,950TJ



エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	12,989TJ	22	45	1	50.2%
2 風力発電	0TJ	42	42	42	0.0%
3 地熱発電	0TJ	14	14	14	0.0%
4 小水力発電	20TJ	46	47	45	0.1%
◎ 5 バイオマス発電	7,537TJ	3	27	3	29.1%
6 太陽熱利用	1,210TJ	8	38	1	4.7%
7 地熱利用	70TJ	32	42	25	0.3%
○ 8.バイオマス熱利用	4,047TJ	1	27	1	15.6%
合計(供給量)	25,871TJ	19			
再生可能エネルギー自給率			4.27%	再エネ自給率ランク 46	
食料自給率			1.5%	食料自給率ランク 46	
供給密度(TJ/km ²)			13.580	供給密度ランク 1	
民生+農林水産業用エネルギー需要(再エネ熱含む)				605,219TJ	
区域面積				1,905km ²	

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
1	泉南郡岬町	31.0%	1	豊中市	35.156	☆1	豊能郡能勢町	160.9%
2	豊能郡能勢町	22.0%	2	大阪市	31.231	2	南河内郡河南町	37.5%
3	豊能郡豊能町	15.9%	3	泉大津市	29.384	3	南河内郡千早赤阪村	23.2%
4	南河内郡河南町	14.0%	4	堺市	23.326	4	南河内郡太子町	11.2%
5	柏原市	13.8%	5	八尾市	20.695	5	豊能郡豊能町	10.8%
6	南河内郡千早赤阪村	12.7%	6	東大阪市	19.516	6	岸和田市	9.1%
7	泉南市	12.2%	7	柏原市	19.318	7	泉佐野市	7.7%
8	泉大津市	10.5%	8	茨木市	17.401	8	泉南市	7.3%
9	南河内郡太子町	10.0%	9	吹田市	16.483	9	泉南郡岬町	6.7%
10	和泉市	9.8%	10	藤井寺市	16.072	10	富田林市	4.9%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生+農林水産業用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

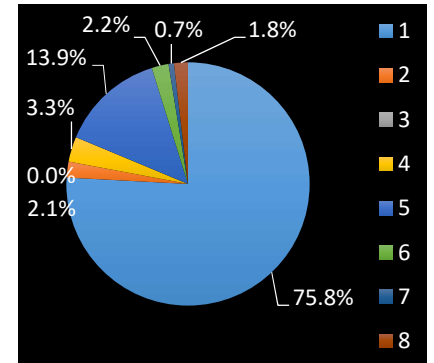
※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

兵庫県

2018年度 39,531TJ 対前年度比 110.9%

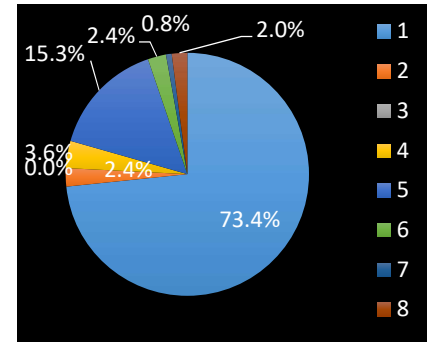
再生可能エネルギー供給状況

2019年3月末の設備状況をもとに2018年度について推計しました。

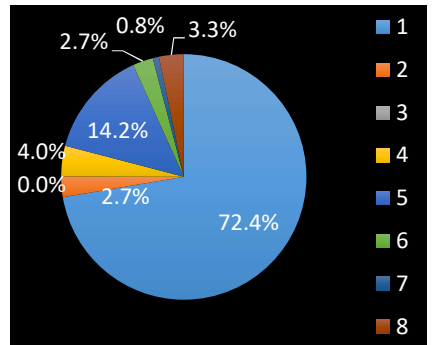


主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

2017年度 35,647TJ 対前年度比 110.4%



2016年度 32,288TJ



エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	29,975TJ	4	24	12	75.8%
2 風力発電	846TJ	20	27	26	2.1%
3 地熱発電	0TJ	14	14	14	0.0%
4 小水力発電	1,319TJ	32	38	38	3.3%
○ 5 バイオマス発電	5,493TJ	5	15	8	13.9%
6 太陽熱利用	889TJ	14	31	24	2.2%
7 地熱利用	281TJ	21	27	26	0.7%
8 バイオマス熱利用	727TJ	36	43	34	1.8%
合計(供給量)	39,531TJ	6			
再生可能エネルギー自給率			13.51%	再エネ自給率ランク 33	
食料自給率			14.7%	食料自給率ランク 40	
供給密度(TJ/km ²)			4.706	供給密度ランク 16	
民生+農林水産業用エネルギー需要(再エネ熱含む)				292,646TJ	
区域面積				8,401km ²	

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	淡路市	117.5%	1	尼崎市	25.536	☆1	南あわじ市	129.4%
2	神崎郡神河町	95.5%	2	明石市	22.971	☆2	篠山市	101.2%
3	赤穂市	82.6%	3	加古郡稲美町	19.404	3	美方郡新温泉町	99.8%
4	加西市	75.0%	4	加古郡播磨町	16.659	4	加西市	87.4%
5	佐用郡佐用町	74.9%	5	高砂市	16.439	5	佐用郡佐用町	85.8%
6	南あわじ市	70.6%	6	赤穂市	15.537	6	美方郡香美町	80.3%
7	宍粟市	62.8%	7	西宮市	15.356	7	丹波市	79.9%
8	多可郡多可町	62.1%	8	淡路市	14.508	8	加東市	78.5%
9	丹波市	56.7%	9	小野市	10.972	9	赤穂郡上郡町	73.2%
10	加東市	51.7%	10	伊丹市	10.928	10	淡路市	72.8%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生+農林水産業用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地球食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

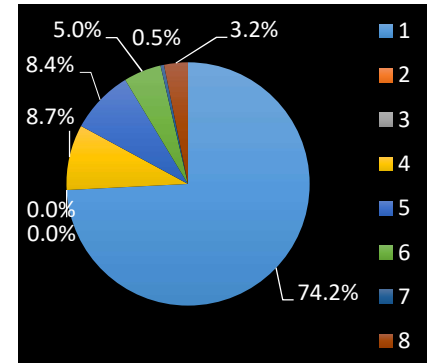
奈良県

2018年度 8,229TJ 対前年度比 115.6%

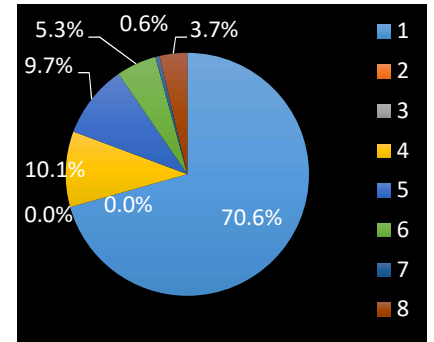
再生可能エネルギー供給状況

2019年3月末の設備状況をもとに2018年度について推計しました。

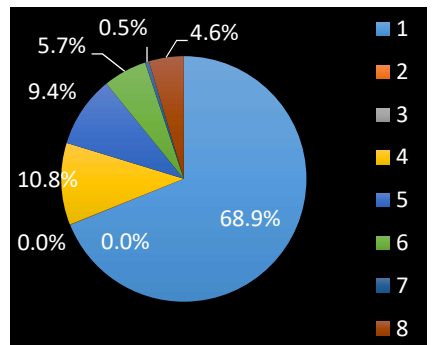
主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○



2017年度 7,120TJ 対前年度比 108.6%



2016年度 6,553TJ



エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	6,107TJ	36	32	31	74.2%
2 風力発電	1TJ	39	40	40	0.0%
3 地熱発電	0TJ	14	14	14	0.0%
4 小水力発電	716TJ	39	31	32	8.7%
5 バイオマス発電	693TJ	39	37	34	8.4%
6 太陽熱利用	413TJ	31	24	23	5.0%
7 地熱利用	38TJ	39	33	37	0.5%
8. バイオマス熱利用	262TJ	44	40	39	3.2%
合計(供給量)	8,229TJ	45			
再生可能エネルギー自給率			10.17%	再エネ自給率ランク	41
食料自給率			13.3%	食料自給率ランク	41
供給密度(TJ/km ²)			2.230	供給密度ランク	39
民生+農林水産業用エネルギー需要(再エネ熱含む)				80,950TJ	
区域面積				3,691km ²	

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	吉野郡上北山村	324.7%	1	吉野郡大淀町	17.768	☆1	宇陀郡御杖村	107.3%
2	吉野郡吉野町	90.9%	2	生駒郡安堵町	12.359	2	宇陀郡曽爾村	81.5%
3	吉野郡大淀町	65.5%	3	橿原市	11.654	3	山辺郡山添村	71.2%
4	山辺郡山添村	41.6%	4	北葛城郡王寺町	11.029	4	五條市	65.1%
5	五條市	29.3%	5	香芝市	10.961	5	高市郡明日香村	62.7%
6	御所市	26.4%	6	大和高田市	10.640	6	宇陀市	46.0%
7	吉野郡下市町	23.8%	7	磯城郡三宅町	10.272	7	御所市	40.1%
8	宇陀市	22.5%	8	磯城郡川西町	10.270	8	磯城郡田原本町	33.2%
9	宇陀郡御杖村	20.8%	9	北葛城郡上牧町	9.593	9	磯城郡三宅町	31.8%
10	高市郡高取町	18.7%	10	天理市	9.563	10	高市郡高取町	30.6%

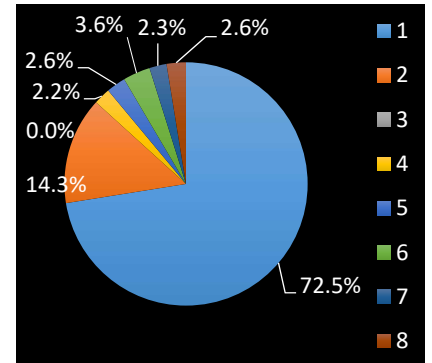
※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生+農林水産業用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
 ※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地球食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

和歌山県

2018年度 11,578TJ 対前年度比 122.6%

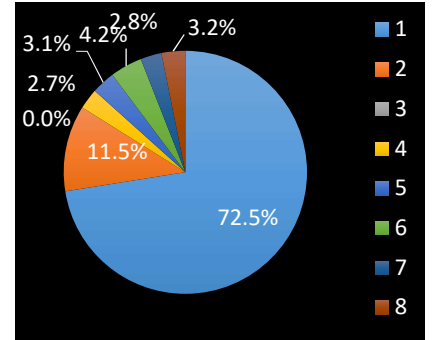


再生可能エネルギー供給状況

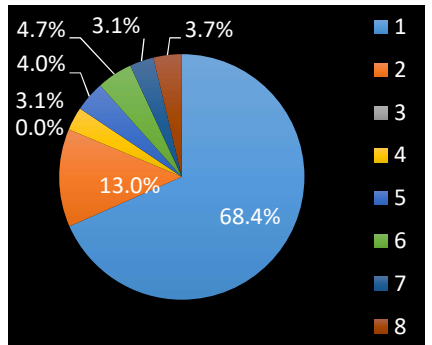
2019年3月末の設備状況をもとに2018年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

2017年度 9,445TJ 対前年度比 111.9%



2016年度 8,439TJ



エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	8,392TJ	31	15	29	72.5%
○ 2 風力発電	1,651TJ	15	8	10	14.3%
3 地熱発電	0TJ	14	14	14	0.0%
4 小水力発電	258TJ	42	39	43	2.2%
5 バイオマス発電	295TJ	46	46	45	2.6%
6 太陽熱利用	418TJ	30	17	30	3.6%
7 地熱利用	265TJ	23	18	20	2.3%
8.バイオマス熱利用	299TJ	43	36	40	2.6%
合計(供給量)	11,578TJ	39			
再生可能エネルギー自給率			18.86%	再エネ自給率ランク	25
食料自給率			26.9%	食料自給率ランク	33
供給密度(TJ/km ²)			2.451	供給密度ランク	35
民生+農林水産業用エネルギー需要(再エネ熱含む)				61,379TJ	
区域面積				4,725km ²	

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	日高郡印南町	159.4%	1	有田市	16.863	☆1	日高郡みなべ町	132.6%
☆2	有田郡広川町	136.0%	2	岩出市	13.183	2	日高郡日高町	91.7%
☆3	日高郡日高川町	127.0%	3	和歌山市	12.587	3	日高郡印南町	89.5%
4	日高郡由良町	82.8%	4	日高郡由良町	9.162	4	有田郡広川町	78.9%
5	西牟婁郡すさみ町	75.2%	5	日高郡美浜町	9.146	5	有田郡有田川町	75.1%
6	有田郡有田川町	55.8%	6	西牟婁郡上富田町	8.487	6	日高郡日高川町	74.7%
7	西牟婁郡上富田町	55.3%	7	有田郡広川町	7.072	7	伊都郡かつらぎ町	64.4%
8	有田市	39.1%	8	御坊市	6.137	8	紀の川市	57.0%
9	日高郡日高町	33.2%	9	日高郡印南町	5.287	9	有田郡湯浅町	47.9%
10	紀の川市	29.7%	10	紀の川市	4.157	10	伊都郡九度山町	47.3%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生+農林水産業用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
 ※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

鳥取県

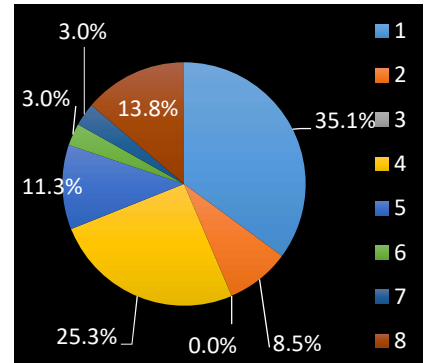
2018年度 9,102TJ 対前年度比 105.5%

再生可能エネルギー供給状況

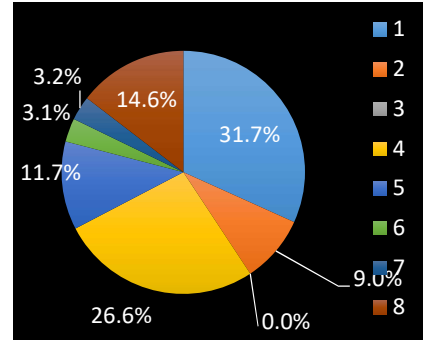
2019年3月末の設備状況をもとに2018年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

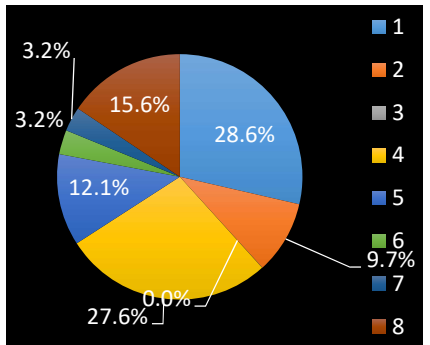
エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	3,194TJ	43	27	37	35.1%
2 風力発電	774TJ	21	15	17	8.5%
3 地熱発電	1TJ	13	12	13	0.0%
◎ 4 小水力発電	2,307TJ	21	4	7	25.3%
○ 5 バイオマス発電	1,024TJ	36	8	18	11.3%
6 太陽熱利用	269TJ	37	13	33	3.0%
7 地熱利用	277TJ	22	8	13	3.0%
○ 8.バイオマス熱利用	1,256TJ	16	1	9	13.8%
合計(供給量)	9,102TJ	44			
再生可能エネルギー自給率			25.20%	再エネ自給率ランク 17	
食料自給率			58.3%	食料自給率ランク 16	
供給密度(TJ/km ²)			2.595	供給密度ランク 32	
民生+農林水産業用エネルギー需要(再エネ熱含む)				36,120TJ	
区域面積				3,507km ²	



2017年度 8,627TJ 対前年度比 103.8%



2016年度 8,307TJ



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	八頭郡若桜町	126.2%	1	境港市	32.511	☆1	日野郡日南町	296.1%
☆2	西伯郡伯耆町	123.4%	2	米子市	13.744	☆2	日野郡江府町	180.7%
3	西伯郡大山町	93.6%	3	東伯郡北栄町	5.708	☆3	境港市	160.5%
4	日野郡江府町	68.7%	4	西伯郡伯耆町	4.866	☆4	西伯郡大山町	157.7%
5	八頭郡八頭町	63.1%	5	西伯郡大山町	3.688	☆5	東伯郡琴浦町	127.3%
6	東伯郡北栄町	47.8%	6	鳥取市	3.104	☆6	西伯郡伯耆町	116.7%
7	東伯郡琴浦町	40.9%	7	東伯郡湯梨浜町	2.828	☆7	東伯郡北栄町	115.5%
8	境港市	40.2%	8	東伯郡琴浦町	2.486	☆8	岩美郡岩美町	110.3%
9	日野郡日南町	39.5%	9	西伯郡日吉津村	2.393	9	八頭郡八頭町	98.1%
10	東伯郡三朝町	39.5%	10	八頭郡八頭町	2.225	10	西伯郡南部町	94.7%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生+農林水産業用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

島根県

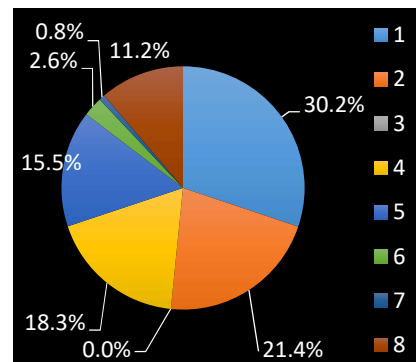
2018年度 12,060TJ 対前年度比 103.1%

再生可能エネルギー供給状況

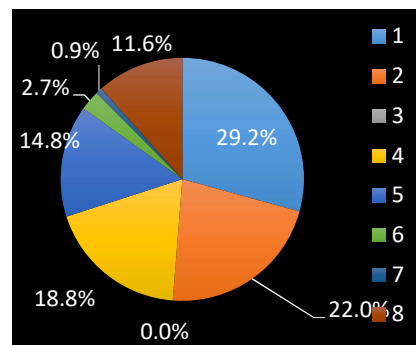
2019年3月末の設備状況をもとに2018年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

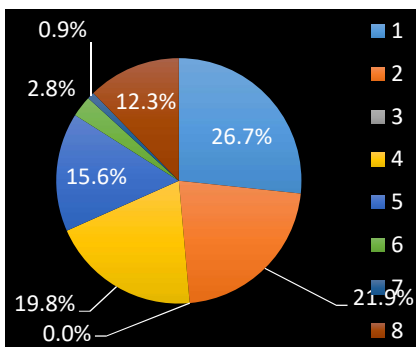
エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	3,638TJ	41	30	42	30.2%
◎ 2 風力発電	2,586TJ	8	3	8	21.4%
3 地熱発電	0TJ	14	14	14	0.0%
○ 4 小水力発電	2,207TJ	22	12	24	18.3%
○ 5 バイオマス発電	1,866TJ	20	3	22	15.5%
6 太陽熱利用	314TJ	35	16	36	2.6%
7 地熱利用	95TJ	31	25	35	0.8%
○ 8 バイオマス熱利用	1,355TJ	14	3	20	11.2%
合計(供給量)	12,060TJ	37			
再生可能エネルギー自給率			26.6%	再エネ自給率ランク	11
食料自給率			64.9%	食料自給率ランク	13
供給密度(TJ/km ²)			1.798	供給密度ランク	41
民生+農林水産業用エネルギー需要(再エネ熱含む)				45,245TJ	
区域面積				6,708km ²	



2017年度 11,700TJ 対前年度比 105.6%



2016年度 11,082TJ



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	江津市	139.9%	1	江津市	7.407	☆1	隠岐郡西ノ島町	900.6%
2	鹿足郡津和野町	76.4%	2	松江市	4.122	☆2	隠岐郡隠岐の島町	408.3%
3	雲南市	58.0%	3	出雲市	3.535	☆3	飯石郡飯南町	302.2%
4	浜田市	49.4%	4	浜田市	3.082	☆4	仁多郡奥出雲町	214.2%
5	邑智郡美郷町	45.7%	5	雲南市	2.026	☆5	邑智郡邑南町	188.6%
6	隠岐郡海士町	28.0%	6	隠岐郡海士町	1.354	☆6	鹿足郡吉賀町	139.2%
7	益田市	23.8%	7	鹿足郡津和野町	1.162	☆7	安来市	102.9%
8	鹿足郡吉賀町	22.5%	8	益田市	0.977	8	鹿足郡津和野町	88.6%
9	出雲市	21.6%	9	安来市	0.821	9	邑智郡美郷町	84.5%
10	安来市	18.1%	10	大田市	0.622	10	大田市	83.5%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生+農林水産業用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
 ※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地球食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

岡山県

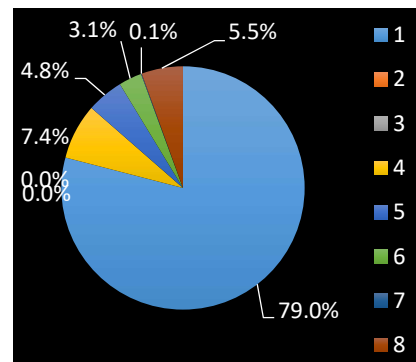
2018年度 26,183TJ 対前年度比 126.0%

再生可能エネルギー供給状況

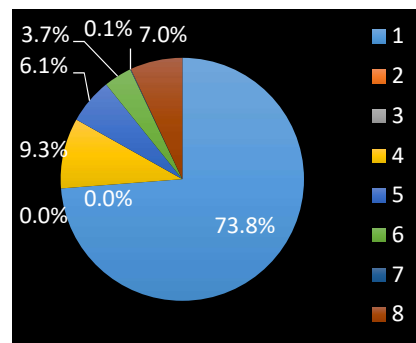
2019年3月末の設備状況をもとに2018年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

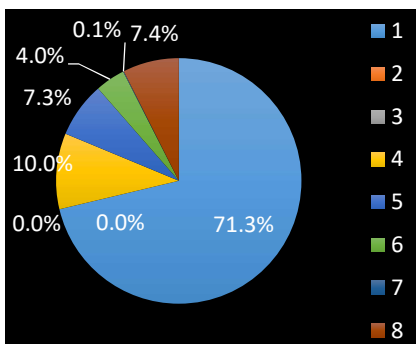
エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	20,697TJ	11	7	16	79.0%
2 風力発電	0TJ	42	42	42	0.0%
3 地熱発電	0TJ	14	14	14	0.0%
4 小水力発電	1,939TJ	25	26	27	7.4%
5 バイオマス発電	1,268TJ	31	31	36	4.8%
6 太陽熱利用	813TJ	17	14	22	3.1%
7 地熱利用	17TJ	43	40	43	0.1%
8.バイオマス熱利用	1,449TJ	12	14	18	5.5%
合計(供給量)	26,183TJ	18			
再生可能エネルギー自給率			23.65%	再エネ自給率ランク 19	
食料自給率			34.5%	食料自給率ランク 28	
供給密度(TJ/km ²)			3.684	供給密度ランク 20	
民生+農林水産業用エネルギー需要(再エネ熱含む)				110,722TJ	
区域面積				7,107km ²	



2017年度 20,774TJ 対前年度比 107.3%



2016年度 19,369TJ



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	久米郡久米南町	205.7%	1	瀬戸内市	23.988	☆1	岡山市	408.3%
☆2	瀬戸内市	168.2%	2	都窪郡早島町	19.362	☆2	真庭郡新庄村	209.9%
☆3	苫田郡鏡野町	142.6%	3	倉敷市	9.506	☆3	加賀郡吉備中央町	191.6%
4	真庭市	94.8%	4	浅口郡里庄町	8.492	☆4	勝田郡奈義町	163.2%
5	久米郡美咲町	89.3%	5	玉野市	8.231	☆5	久米郡久米南町	161.5%
6	勝田郡奈義町	82.2%	6	浅口市	7.838	☆6	久米郡美咲町	143.4%
7	加賀郡吉備中央町	69.2%	7	岡山市	6.955	☆7	苫田郡鏡野町	143.4%
8	美作市	57.1%	8	久米郡久米南町	6.329	☆8	勝田郡勝央町	118.1%
9	和気郡和気町	52.7%	9	笠岡市	5.637	9	真庭市	98.4%
10	英田郡西粟倉村	45.3%	10	勝田郡奈義町	3.794	10	美作市	96.8%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生+農林水産業用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地球食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

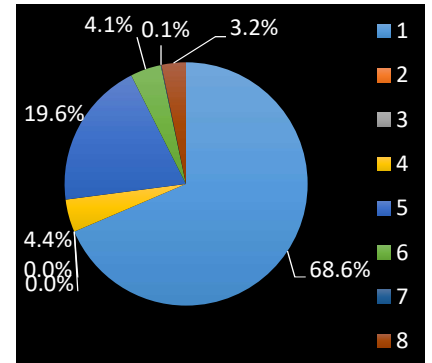
※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

広島県

2018年度 23,916TJ 対前年度比 110.9%

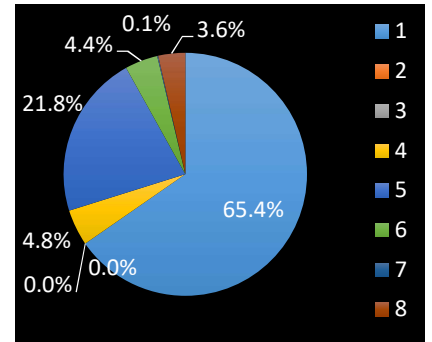
再生可能エネルギー供給状況

2019年3月末の設備状況をもとに2018年度について推計しました。

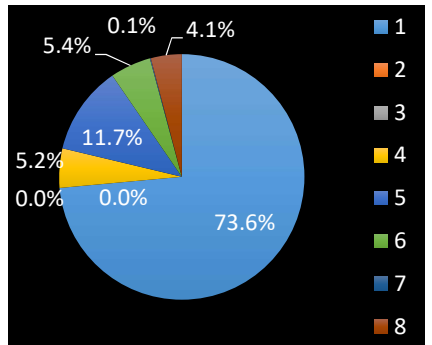


主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

2017年度 21,556TJ 対前年度比 123.5%



2016年度 17,456TJ



エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	16,401TJ	16	26	24	68.6%
2 風力発電	0TJ	42	42	42	0.0%
3 地熱発電	0TJ	14	14	14	0.0%
4 小水力発電	1,043TJ	34	35	39	4.4%
○ 5 バイオマス発電	4,692TJ	8	10	10	19.6%
6 太陽熱利用	984TJ	10	22	21	4.1%
7 地熱利用	20TJ	42	41	42	0.1%
8.バイオマス熱利用	775TJ	35	37	32	3.2%
合計(供給量)	23,916TJ	24			
再生可能エネルギー自給率			13.86%	再エネ自給率ランク	32
食料自給率			21.3%	食料自給率ランク	36
供給密度(TJ/km ²)			2.820	供給密度ランク	28
民生+農林水産業用エネルギー需要(再エネ熱含む)				172,499TJ	
区域面積				8,480km ²	

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
1	山県郡北広島町	75.8%	1	安芸郡府中町	21.956	☆1	世羅郡世羅町	267.0%
2	神石郡神石高原町	67.6%	2	呉市	13.025	☆2	山県郡北広島町	217.7%
3	世羅郡世羅町	54.0%	3	安芸郡熊野町	6.742	☆3	庄原市	205.3%
4	安芸高田市	45.6%	4	福山市	5.917	☆4	神石郡神石高原町	171.7%
5	庄原市	43.3%	5	東広島市	4.649	☆5	安芸高田市	165.3%
6	三次市	40.2%	6	尾道市	4.265	☆6	三次市	125.8%
7	豊田郡大崎上島町	36.4%	7	豊田郡大崎上島町	4.158	☆7	江田島市	117.7%
8	呉市	34.5%	8	安芸郡海田町	3.954	8	山県郡安芸太田町	68.3%
9	東広島市	27.0%	9	廿日市市	3.092	9	三原市	49.5%
10	三原市	26.3%	10	三原市	2.996	10	東広島市	36.7%

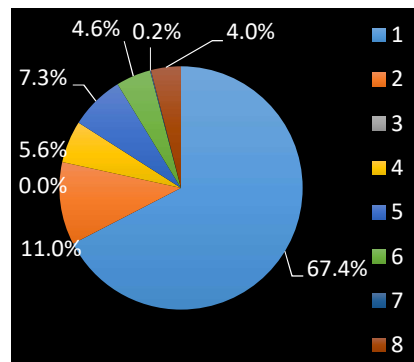
※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生+農林水産業用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
 ※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

山口県

2018年度 17,137TJ 対前年度比 111.8%

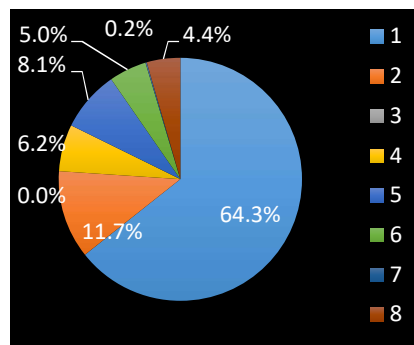


再生可能エネルギー供給状況

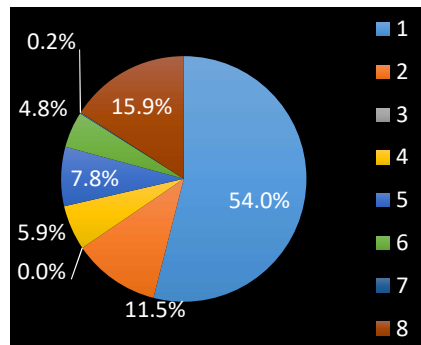
2019年3月末の設備状況をもとに2018年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

2017年度 15,328TJ 対前年度比 95.4%



2016年度 16,067TJ



エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	11,552TJ	23	16	27	67.4%
○ 2 風力発電	1,887TJ	13	14	11	11.0%
3 地熱発電	0TJ	14	14	14	0.0%
4 小水力発電	961TJ	37	29	37	5.6%
5 バイオマス発電	1,243TJ	32	21	28	7.3%
6 太陽熱利用	787TJ	18	8	16	4.6%
7 地熱利用	27TJ	41	36	41	0.2%
8.バイオマス熱利用	681TJ	38	25	30	4.0%
合計(供給量)	17,137TJ	29			
再生可能エネルギー自給率			19.57%	再エネ自給率ランク 23	
食料自給率			30.3%	食料自給率ランク 31	
供給密度(TJ/km ²)			2.804	供給密度ランク 29	
民生+農林水産業用エネルギー需要(再エネ熱含む)				87,568TJ	
区域面積				6,113km ²	

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
1	熊毛郡平生町	90.1%	1	熊毛郡平生町	17.468	☆1	阿武郡阿武町	213.6%
2	美祢市	78.8%	2	山陽小野田市	9.013	☆2	美祢市	127.2%
3	山陽小野田市	35.1%	3	防府市	6.600	3	長門市	84.6%
4	熊毛郡田布施町	32.2%	4	宇部市	6.215	4	萩市	83.3%
5	大島郡周防大島町	23.1%	5	下松市	5.555	5	山口市	48.7%
6	阿武郡阿武町	22.0%	6	下関市	4.877	6	柳井市	40.3%
7	下関市	20.3%	7	光市	4.766	7	大島郡周防大島町	37.8%
8	萩市	20.2%	8	熊毛郡田布施町	4.447	8	下関市	29.5%
9	岩国市	20.0%	9	美祢市	2.411	9	熊毛郡田布施町	29.4%
10	長門市	19.5%	10	柳井市	2.388	10	山陽小野田市	23.4%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生+農林水産業用エネルギー需要で割った値です。

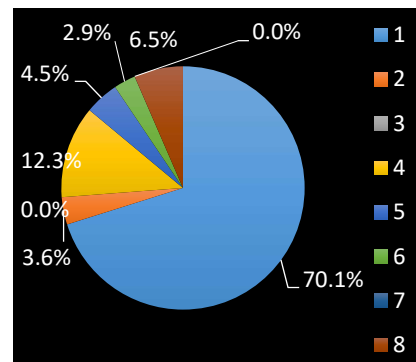
※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

徳島県

2018年度 12,059TJ 対前年度比 109.3%

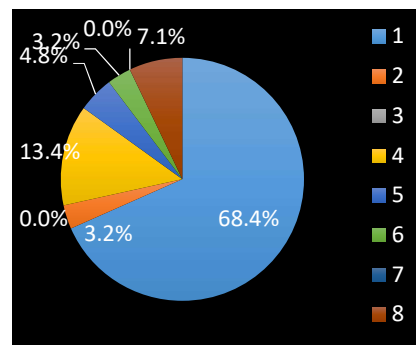


再生可能エネルギー供給状況

2019年3月末の設備状況をもとに2018年度について推計しました。

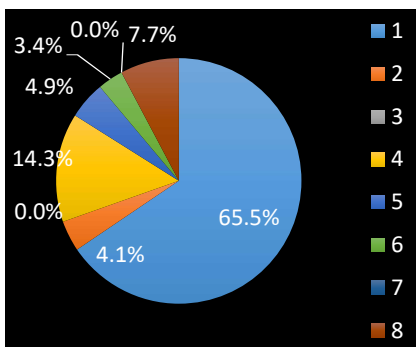
主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

2017年度 11,035TJ 対前年度比 106.8%



エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	8,459TJ	30	9	23	70.1%
2 風力発電	438TJ	26	20	25	3.6%
3 地熱発電	0TJ	14	14	14	0.0%
○ 4 小水力発電	1,481TJ	29	18	23	12.3%
5 バイオマス発電	541TJ	44	30	41	4.5%
6 太陽熱利用	355TJ	33	12	31	2.9%
7 地熱利用	0TJ	46	46	47	0.0%
8.バイオマス熱利用	784TJ	34	9	24	6.5%
合計(供給量)	12,059TJ	38			
再生可能エネルギー自給率			25.54%	再エネ自給率ランク 16	
食料自給率			39.2%	食料自給率ランク 25	
供給密度(TJ/km ²)			2.908	供給密度ランク 27	
民生+農林水産業用エネルギー需要(再エネ熱含む)				47,210TJ	
区域面積				4,147km ²	

2016年度 10,329TJ



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	名東郡佐那河内村	472.6%	1	小松島市	30.203	☆1	阿波市	124.1%
☆2	三好市	100.1%	2	板野郡北島町	16.004	2	板野郡上板町	79.6%
3	阿波市	90.7%	3	板野郡松茂町	11.137	3	勝浦郡勝浦町	79.0%
4	板野郡上板町	53.6%	4	名東郡佐那河内村	10.715	4	海部郡海陽町	77.8%
5	小松島市	46.1%	5	板野郡藍住町	10.580	5	名東郡佐那河内村	73.6%
6	美馬市	45.7%	6	板野郡上板町	8.636	6	阿南市	62.8%
7	那賀郡那賀町	43.0%	7	名西郡石井町	8.071	7	鳴門市	57.9%
8	阿南市	40.6%	8	阿波市	7.751	8	板野郡板野町	57.2%
9	美馬郡つるぎ町	36.8%	9	徳島市	7.642	9	小松島市	53.5%
10	板野郡板野町	27.6%	10	鳴門市	6.041	10	美馬市	50.1%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生+農林水産業用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
 ※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

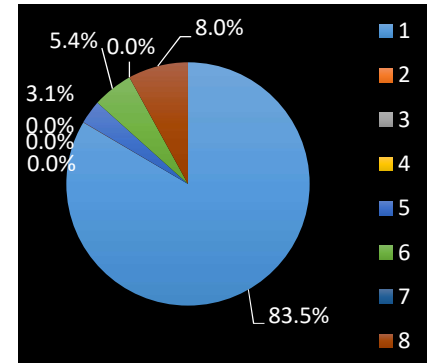
※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

香川県

2018年度 11,536TJ 対前年度比 111.8%

再生可能エネルギー供給状況

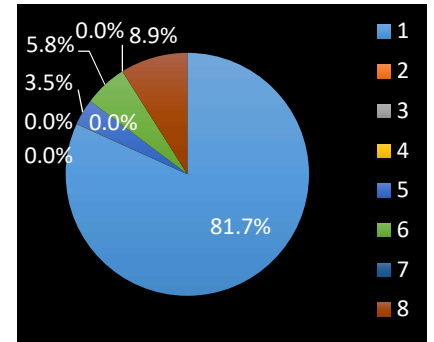
2019年3月末の設備状況をもとに2018年度について推計しました。



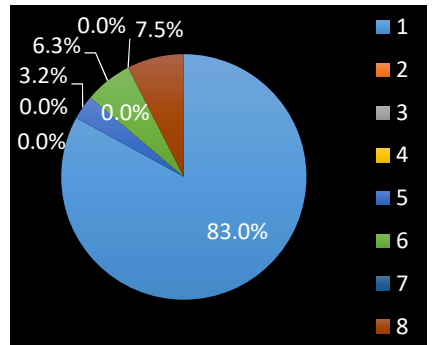
主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	9,628TJ	27	13	6	83.5%
2 風力発電	1TJ	40	39	39	0.0%
3 地熱発電	0TJ	14	14	14	0.0%
4 小水力発電	3TJ	47	46	47	0.0%
5 バイオマス発電	363TJ	45	45	33	3.1%
6 太陽熱利用	617TJ	25	6	7	5.4%
7 地熱利用	0TJ	47	47	46	0.0%
8. バイオマス熱利用	923TJ	28	12	5	8.0%
合計(供給量)	11,536TJ	40			
再生可能エネルギー自給率			17.23%	再エネ自給率ランク 27	
食料自給率			32.5%	食料自給率ランク 29	
供給密度(TJ/km ²)			6.147	供給密度ランク 9	
民生+農林水産業用エネルギー需要(再エネ熱含む)				66,945TJ	
区域面積				1,877km ²	

2017年度 10,322TJ 対前年度比 110.6%



2016年度 9,333TJ



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
1	仲多度郡まんのう町	57.2%	1	綾歌郡宇多津町	17.469	☆1	仲多度郡まんのう町	114.6%
2	三豊市	50.9%	2	坂出市	9.825	☆2	香川郡直島町	111.8%
3	さぬき市	35.6%	3	丸亀市	8.738	3	綾歌郡綾川町	89.9%
4	綾歌郡綾川町	28.9%	4	高松市	8.602	4	観音寺市	67.1%
5	坂出市	25.1%	5	三豊市	8.515	5	三豊市	63.5%
6	観音寺市	24.7%	6	仲多度郡多度津町	8.095	6	東かがわ市	62.8%
7	東かがわ市	24.0%	7	観音寺市	7.651	7	さぬき市	57.9%
8	木田郡三木町	20.1%	8	善通寺市	7.176	8	木田郡三木町	53.1%
9	小豆郡小豆島町	17.2%	9	仲多度郡琴平町	6.448	9	善通寺市	33.2%
10	仲多度郡多度津町	16.1%	10	さぬき市	6.329	10	仲多度郡琴平町	32.6%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生+農林水産業用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
 ※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

愛媛県

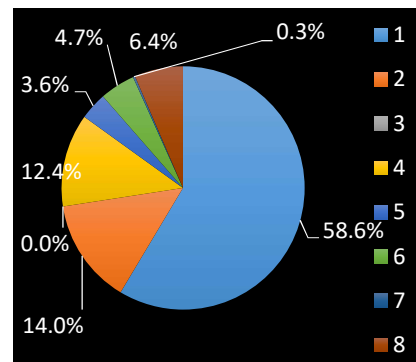
2018年度 16,858TJ 対前年度比 110.8%

再生可能エネルギー供給状況

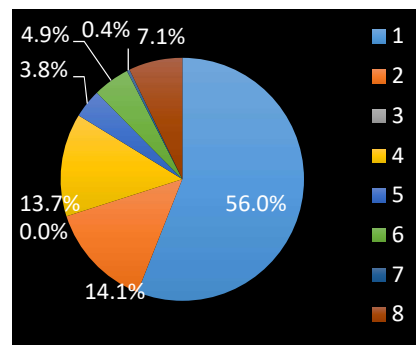
2019年3月末の設備状況をもとに2018年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

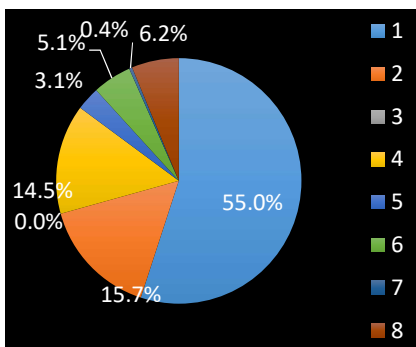
エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	9,873TJ	24	21	30	58.6%
○ 2 風力発電	2,358TJ	9	7	7	14.0%
3 地熱発電	0TJ	14	14	14	0.0%
○ 4 小水力発電	2,090TJ	24	23	21	12.4%
5 バイオマス発電	611TJ	43	42	43	3.6%
6 太陽熱利用	785TJ	19	7	15	4.7%
7 地熱利用	54TJ	36	32	38	0.3%
8.バイオマス熱利用	1,086TJ	19	16	23	6.4%
合計(供給量)	16,858TJ	30			
再生可能エネルギー自給率			19.79%	再エネ自給率ランク	22
食料自給率			35.8%	食料自給率ランク	27
供給密度(TJ/km ²)			2.970	供給密度ランク	26
民生+農林水産業用エネルギー需要(再エネ熱含む)				85,164TJ	
区域面積				5,676km ²	



2017年度 15,220TJ 対前年度比 105.6%



2016年度 14,410TJ



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	西宇和郡伊方町	294.8%	1	西宇和郡伊方町	18.636	☆1	南宇和郡愛南町	273.2%
☆2	上浮穴郡久万高原町	154.4%	2	伊予郡松前町	12.469	☆2	北宇和郡松野町	121.5%
3	西条市	50.3%	3	松山市	8.650	☆3	西予市	111.1%
4	北宇和郡松野町	28.1%	4	西条市	6.252	☆4	上浮穴郡久万高原町	108.6%
5	南宇和郡愛南町	23.9%	5	新居浜市	4.123	☆5	北宇和郡鬼北町	104.0%
6	北宇和郡鬼北町	23.0%	6	今治市	4.091	6	西宇和郡伊方町	94.3%
7	西予市	22.1%	7	宇和島市	2.128	7	宇和島市	91.8%
8	宇和島市	20.7%	8	越智郡上島町	1.878	8	西条市	64.3%
9	大洲市	20.5%	9	四国中央市	1.852	9	喜多郡内子町	61.6%
10	今治市	18.8%	10	東温市	1.754	10	八幡浜市	60.0%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生+農林水産業用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
 ※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地球食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

高知県

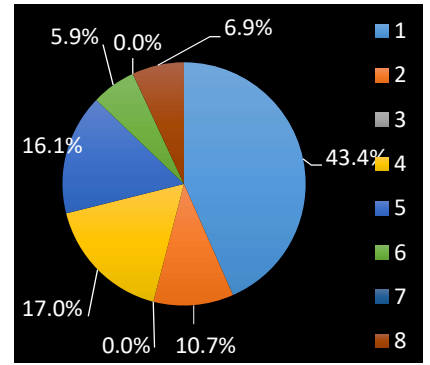
2018年度 12,629TJ 対前年度比 105.4%

再生可能エネルギー供給状況

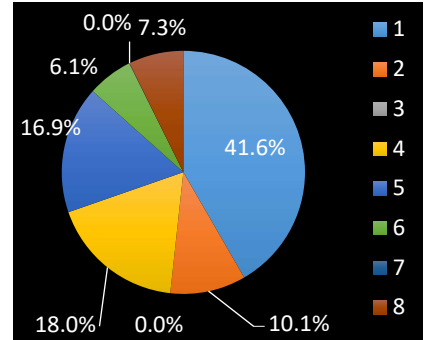
2019年3月末の設備状況をもとに2018年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

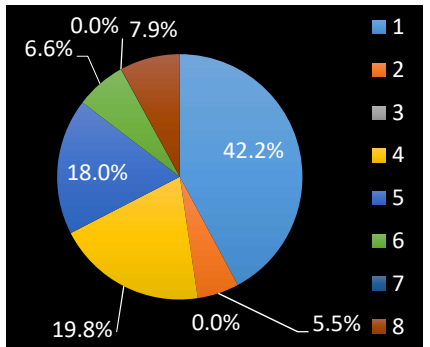
エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	5,479TJ	39	17	38	43.4%
○ 2 風力発電	1,348TJ	16	6	19	10.7%
3 地熱発電	0TJ	14	14	14	0.0%
○ 4 小水力発電	2,151TJ	23	10	26	17.0%
○ 5 バイオマス発電	2,028TJ	19	2	19	16.1%
6 太陽熱利用	749TJ	20	2	25	5.9%
7 地熱利用	3TJ	45	44	45	0.0%
8.バイオマス熱利用	872TJ	31	5	29	6.9%
合計(供給量)	12,629TJ	34			
再生可能エネルギー自給率			29.75%	再生可能エネルギー自給率ランク	6
食料自給率			43.2%	食料自給率ランク	23
供給密度(TJ/km ²)			1.778	供給密度ランク	42
民生+農林水産業用エネルギー需要(再エネ熱含む)				42,452TJ	
区域面積				7,104km ²	



2017年度 11,977TJ 対前年度比 110.1%



2016年度 10,874TJ



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	幡多郡大月町	357.6%	1	高知市	11.049	☆1	幡多郡大月町	289.1%
☆2	吾川郡仁淀川町	238.8%	2	幡多郡大月町	10.341	☆2	幡多郡三原村	194.6%
☆3	長岡郡大豊町	162.4%	3	土佐市	4.393	☆3	高岡郡四万十町	153.7%
☆4	高岡郡禰原町	150.8%	4	南国市	3.649	☆4	安芸郡北川村	142.1%
☆5	高岡郡津野町	127.5%	5	安芸郡奈半利町	3.617	☆5	安芸郡東洋町	139.9%
6	香美市	97.9%	6	高岡郡佐川町	3.598	☆6	土佐郡土佐町	138.6%
7	幡多郡三原村	64.4%	7	安芸郡芸西村	3.406	☆7	幡多郡黒潮町	135.5%
8	高岡郡佐川町	62.4%	8	高岡郡日高村	2.758	☆8	室戸市	116.1%
9	安芸郡奈半利町	61.0%	9	安芸郡田野町	2.677	☆9	高岡郡中土佐町	106.5%
10	宿毛市	59.5%	10	香美市	2.586	☆10	宿毛市	105.3%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生+農林水産業用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
 ※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

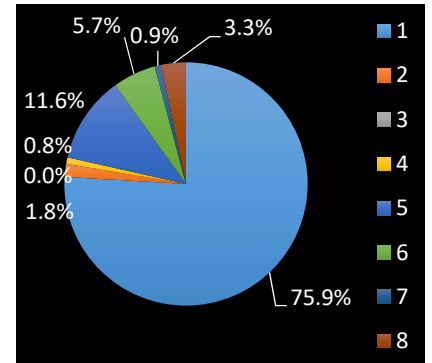
※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

福岡県

2018年度 33,534TJ 対前年度比 105.0%

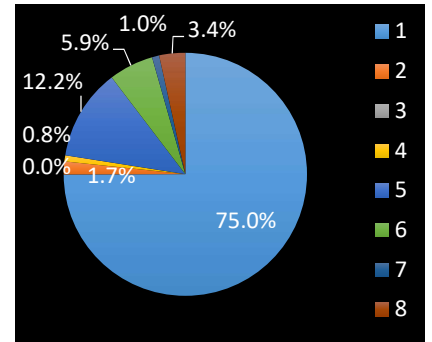
再生可能エネルギー供給状況

2019年3月末の設備状況をもとに2018年度について推計しました。

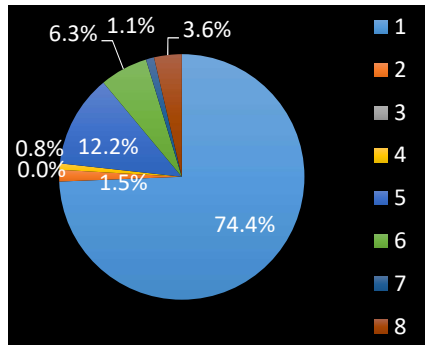


主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

2017年度 31,944TJ 対前年度比 107.1%



2016年度 29,829TJ



エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	25,459TJ	9	29	7	75.9%
2 風力発電	587TJ	23	29	24	1.8%
3 地熱発電	0TJ	14	14	14	0.0%
4 小水力発電	282TJ	41	42	42	0.8%
○ 5 バイオマス発電	3,882TJ	10	28	7	11.6%
6 太陽熱利用	1,924TJ	2	20	6	5.7%
7 地熱利用	297TJ	20	28	19	0.9%
8.バイオマス熱利用	1,102TJ	18	39	16	3.3%
合計(供給量)	33,534TJ	12			
再生可能エネルギー自給率			10.70%	再エネ自給率ランク	38
食料自給率			18.8%	食料自給率ランク	37
供給密度(TJ/km ²)			6.540	供給密度ランク	8
民生+農林水産業用エネルギー需要(再エネ熱含む)				313,412TJ	
区域面積				5,127km ²	

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
1	田川郡赤村	98.3%	1	春日市	44.830	☆1	築上郡上毛町	167.4%
2	田川郡川崎町	81.8%	2	田川郡川崎町	19.509	☆2	朝倉郡筑前町	155.6%
3	田川郡大任町	62.7%	3	田川郡糸田町	17.858	☆3	田川郡赤村	146.6%
4	築上郡上毛町	61.8%	4	大牟田市	17.104	☆4	柳川市	129.0%
5	宮若市	60.6%	5	鞍手郡小竹町	14.035	☆5	三井郡大刀洗町	127.9%
6	鞍手郡小竹町	55.9%	6	筑後市	13.081	☆6	京都郡みやこ町	122.0%
7	嘉麻市	54.7%	7	糟屋郡志免町	12.449	☆7	三潁郡大木町	119.5%
8	田川郡添田町	41.9%	8	北九州市	12.140	☆8	築上郡築上町	114.6%
9	朝倉郡東峰村	41.0%	9	田川市	11.367	☆9	朝倉市	107.7%
10	嘉穂郡桂川町	40.5%	10	福津市	11.324	10	うきは市	94.2%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生+農林水産業用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地球食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

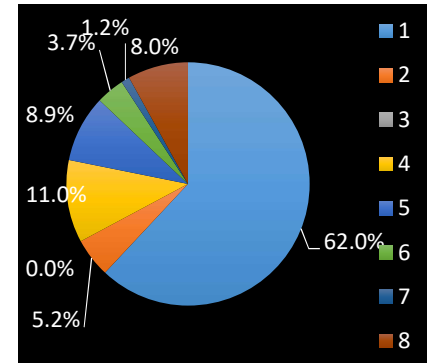
※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

佐賀県

2018年度 12,514TJ 対前年度比 109.6%

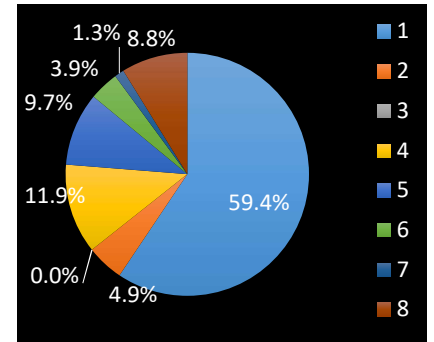
再生可能エネルギー供給状況

2019年3月末の設備状況をもとに2018年度について推計しました。

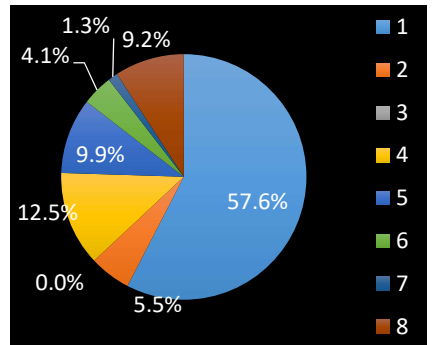


主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

2017年度 11,415TJ 対前年度比 104.7%



2016年度 10,907TJ



エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	7,754TJ	32	14	14	62.0%
2 風力発電	657TJ	22	18	14	5.2%
3 地熱発電	0TJ	14	14	14	0.0%
○ 4 小水力発電	1,372TJ	31	22	13	11.0%
5 バイオマス発電	1,111TJ	34	13	12	8.9%
6 太陽熱利用	468TJ	29	9	9	3.7%
7 地熱利用	146TJ	29	23	18	1.2%
8. バイオマス熱利用	1,005TJ	24	7	7	8.0%
合計(供給量)	12,514TJ	36			
再生可能エネルギー自給率			23.05%	再エネ自給率ランク	21
食料自給率			88.7%	食料自給率ランク	7
供給密度(TJ/km ²)			5.127	供給密度ランク	14
民生+農林水産業用エネルギー需要(再エネ熱含む)				54,293TJ	
区域面積				2,441km ²	

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
1	東松浦郡玄海町	53.4%	1	三養基郡上峰町	13.326	☆1	杵島郡白石町	422.1%
2	伊万里市	50.7%	2	杵島郡大町	8.737	☆2	杵島郡江北町	194.5%
3	藤津郡太良町	46.8%	3	伊万里市	7.749	☆3	神崎市	185.7%
4	神崎市	41.1%	4	鳥栖市	7.665	☆4	藤津郡太良町	165.7%
5	多久市	34.7%	5	佐賀市	7.454	☆5	小城市	154.2%
6	三養基郡上峰町	32.3%	6	三養基郡みやき町	6.199	☆6	東松浦郡玄海町	152.5%
7	嬉野市	31.6%	7	東松浦郡玄海町	5.804	☆7	三養基郡みやき町	139.3%
8	唐津市	29.8%	8	三養基郡基山町	5.640	☆8	鹿島市	104.1%
9	杵島郡大町	26.8%	9	神崎市	5.528	9	三養基郡上峰町	93.9%
10	三養基郡みやき町	23.9%	10	唐津市	4.477	10	神埼郡吉野ヶ里町	87.2%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生+農林水産業用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
 ※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

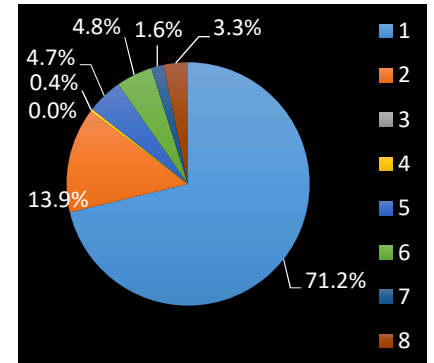
※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

長崎県

2018年度 13,811TJ 対前年度比 109.5%

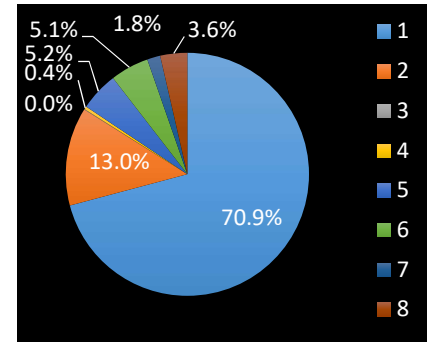
再生可能エネルギー供給状況

2019年3月末の設備状況をもとに2018年度について推計しました。

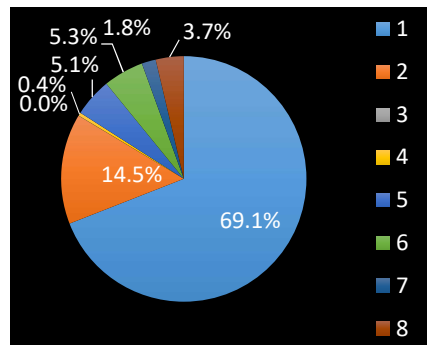


主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

2017年度 12,617TJ 対前年度比 104.5%



2016年度 12,079TJ



エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	9,836TJ	25	20	17	71.2%
○ 2 風力発電	1,922TJ	12	12	5	13.9%
3 地熱発電	3TJ	10	8	9	0.0%
4 小水力発電	54TJ	44	43	44	0.4%
5 バイオマス発電	651TJ	41	39	37	4.7%
6 太陽熱利用	669TJ	23	10	13	4.8%
7 地熱利用	223TJ	24	22	21	1.6%
8 バイオマス熱利用	451TJ	40	33	31	3.3%
合計(供給量)	13,811TJ	32			
再生可能エネルギー自給率			17.11%	再エネ自給率ランク	28
食料自給率			46.7%	食料自給率ランク	21
供給密度(TJ/km ²)			3.343	供給密度ランク	21
民生+農林水産業用エネルギー需要(再エネ熱含む)				80,734TJ	
区域面積				4,131km ²	

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
1	平戸市	59.3%	1	西彼杵郡時津町	15.461	☆1	南松浦郡新上五島町	273.6%
2	五島市	43.6%	2	大村市	10.684	☆2	平戸市	270.6%
3	東彼杵郡東彼杵町	42.6%	3	島原市	5.764	☆3	雲仙市	180.9%
4	西海市	38.7%	4	諫早市	5.087	☆4	南島原市	121.2%
5	雲仙市	31.1%	5	北松浦郡佐々町	4.983	5	松浦市	92.0%
6	南島原市	30.4%	6	佐世保市	4.965	6	壱岐市	89.1%
7	南松浦郡新上五島町	29.8%	7	長崎市	4.856	7	北松浦郡小値賀町	87.8%
8	松浦市	28.7%	8	西彼杵郡長与町	4.780	8	五島市	81.4%
9	大村市	26.1%	9	平戸市	4.326	9	東彼杵郡東彼杵町	78.3%
10	北松浦郡佐々町	24.4%	10	南島原市	4.077	10	西海市	69.7%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生+農林水産業用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
 ※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

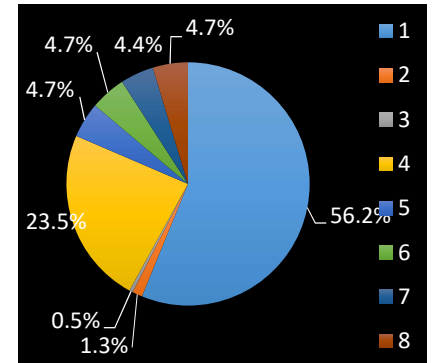
※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

熊本県

2018年度 29,256TJ 対前年度比 108.2%

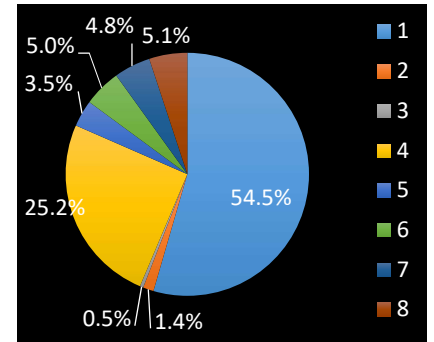
再生可能エネルギー供給状況

2019年3月末の設備状況をもとに2018年度について推計しました。

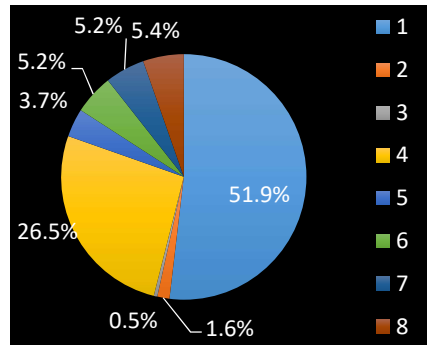


主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

2017年度 27,047TJ 対前年度比 105.7%



2016年度 25,588TJ



エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	16,441TJ	15	12	19	56.2%
2 風力発電	386TJ	28	24	27	1.3%
3 地熱発電	141TJ	7	7	6	0.5%
◎ 4 小水力発電	6,869TJ	5	5	5	23.5%
5 バイオマス発電	1,379TJ	30	25	32	4.7%
6 太陽熱利用	1,372TJ	6	3	8	4.7%
7 地熱利用	1,294TJ	5	5	4	4.4%
8.バイオマス熱利用	1,374TJ	13	17	22	4.7%
合計(供給量)	29,256TJ	15			
再生可能エネルギー自給率			26.95%	再エネ自給率ランク	10
食料自給率			54.1%	食料自給率ランク	18
供給密度(TJ/km ²)			4.101	供給密度ランク	19
民生+農林水産業用エネルギー需要(再エネ熱含む)				108,543TJ	
区域面積				7,135km ²	

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	球磨郡五木村	1296.8%	1	荒尾市	26.593	☆1	阿蘇郡産山村	234.2%
☆2	球磨郡水上村	748.4%	2	熊本市	25.297	☆2	上益城郡山都町	196.9%
☆3	球磨郡相良村	241.8%	3	菊池郡大津町	16.281	☆3	阿蘇郡南阿蘇村	181.8%
☆4	阿蘇郡小国町	233.1%	4	玉名郡長洲町	16.253	☆4	阿蘇市	177.7%
☆5	上益城郡山都町	180.1%	5	合志市	14.975	☆5	球磨郡あさぎり町	170.1%
☆6	球磨郡錦町	112.6%	6	上益城郡益城町	14.555	☆6	上益城郡嘉島町	168.7%
☆7	阿蘇郡西原村	100.7%	7	菊池郡菊陽町	8.474	☆7	球磨郡湯前町	157.9%
8	菊池郡大津町	85.5%	8	阿蘇郡小国町	8.186	☆8	球磨郡多良木町	146.9%
9	阿蘇郡産山村	80.5%	9	球磨郡錦町	7.396	☆9	八代郡氷川町	144.9%
10	上益城郡甲佐町	76.6%	10	上益城郡甲佐町	7.076	☆10	玉名郡和水町	142.0%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生+農林水産業用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
 ※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

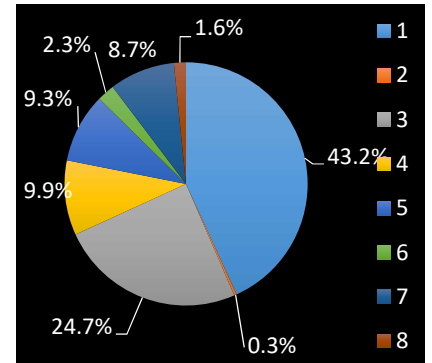
※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

大分県

2018年度 31,820TJ 対前年度比 102.1%

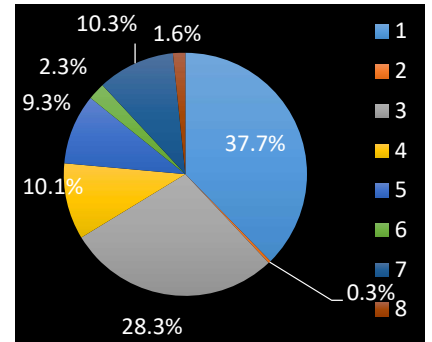
再生可能エネルギー供給状況

2019年3月末の設備状況をもとに2018年度について推計しました。

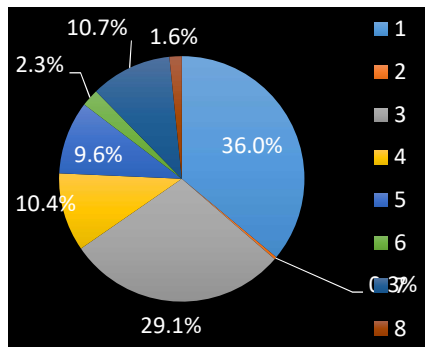


主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

2017年度 31,178TJ 対前年度比 102.3%



2016年度 30,476TJ



エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	13,736TJ	21	8	21	43.2%
2 風力発電	101TJ	32	31	35	0.3%
◎ 3 地熱発電	7,855TJ	1	1	1	24.7%
4 小水力発電	3,161TJ	15	14	14	9.9%
5 バイオマス発電	2,948TJ	15	4	11	9.3%
6 太陽熱利用	737TJ	21	4	20	2.3%
7 地熱利用	2,774TJ	1	1	1	8.7%
8.バイオマス熱利用	509TJ	39	28	36	1.6%
合計(供給量)	31,820TJ	14			
再生可能エネルギー自給率			41.81%	再エネ自給率ランク 1	
食料自給率			43.0%	食料自給率ランク 24	
供給密度(TJ/km ²)			5.018	供給密度ランク 15	
民生+農林水産業用エネルギー需要(再エネ熱含む)				76,101TJ	
区域面積				6,341km ²	

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	玖珠郡九重町	1209.2%	1	玖珠郡九重町	32.624	☆1	竹田市	219.0%
☆2	豊後大野市	113.8%	2	別府市	17.911	☆2	玖珠郡九重町	151.4%
3	由布市	72.2%	3	速見郡日出町	11.506	☆3	宇佐市	149.2%
4	杵築市	69.1%	4	大分市	10.033	☆4	豊後大野市	144.5%
5	宇佐市	56.6%	5	由布市	6.422	☆5	国東市	117.8%
6	玖珠郡玖珠町	54.6%	6	宇佐市	4.286	☆6	豊後高田市	104.6%
7	速見郡日出町	53.6%	7	豊後大野市	4.135	☆7	玖珠郡玖珠町	103.8%
8	日田市	52.1%	8	杵築市	4.099	8	杵築市	97.0%
9	国東市	44.3%	9	日田市	3.528	9	由布市	76.8%
10	豊後高田市	43.5%	10	豊後高田市	2.847	10	佐伯市	61.1%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生+農林水産業用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

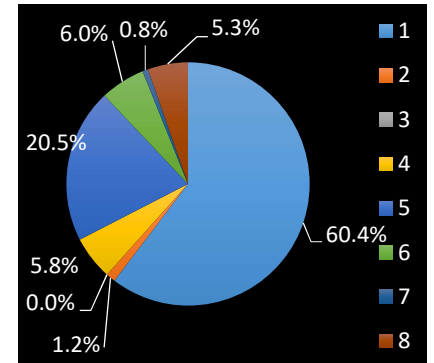
※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

宮崎県

2018年度 24,212TJ 対前年度比 107.6%

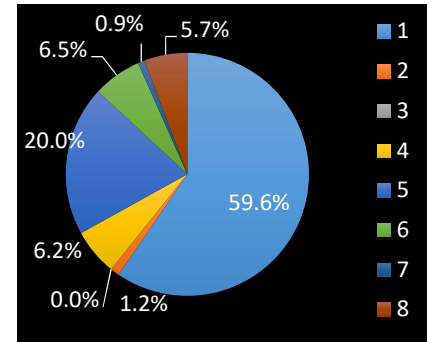
再生可能エネルギー供給状況

2019年3月末の設備状況をもとに2018年度について推計しました。

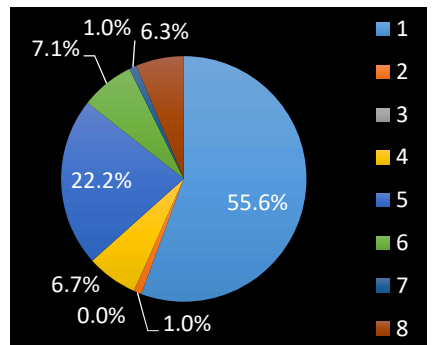


主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

2017年度 22,496TJ 対前年度比 110.7%



2016年度 20,326TJ



エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	14,618TJ	20	3	28	60.4%
2 風力発電	298TJ	29	23	28	1.2%
3 地熱発電	0TJ	14	14	14	0.0%
4 小水力発電	1,415TJ	30	25	35	5.8%
◎ 5 バイオマス発電	4,962TJ	6	1	9	20.5%
6 太陽熱利用	1,442TJ	4	1	11	6.0%
7 地熱利用	185TJ	27	21	32	0.8%
8.バイオマス熱利用	1,292TJ	15	6	25	5.3%
合計(供給量)	24,212TJ	22			
再生可能エネルギー自給率			36.26%	再エネ自給率ランク	4
食料自給率			58.0%	食料自給率ランク	17
供給密度(TJ/km ²)			3.130	供給密度ランク	22
民生+農林水産業用エネルギー需要(再エネ熱含む)				66,774TJ	
区域面積				7,735km ²	

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	児湯郡西米良村	486.2%	1	児湯郡川南町	16.967	☆1	串間市	212.7%
☆2	西臼杵郡五ヶ瀬町	266.5%	2	児湯郡高鍋町	11.602	☆2	児湯郡川南町	187.6%
☆3	児湯郡川南町	183.0%	3	東諸県郡国富町	8.380	☆3	東臼杵郡美郷町	162.8%
☆4	児湯郡都農町	167.1%	4	児湯郡都農町	7.993	☆4	児湯郡木城町	161.7%
☆5	東諸県郡国富町	110.2%	5	日向市	7.866	☆5	えびの市	157.3%
☆6	西臼杵郡日之影町	101.7%	6	宮崎市	7.731	☆6	児湯郡新富町	157.1%
7	日南市	83.3%	7	児湯郡新富町	7.341	☆7	西都市	131.6%
8	日向市	67.7%	8	都城市	5.651	☆8	西諸県郡高原町	119.1%
9	児湯郡新富町	49.6%	9	日南市	4.750	☆9	児湯郡都農町	118.0%
10	東臼杵郡椎葉村	48.8%	10	北諸県郡三股町	3.143	☆10	西臼杵郡五ヶ瀬町	102.5%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生+農林水産業用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
 ※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地球食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

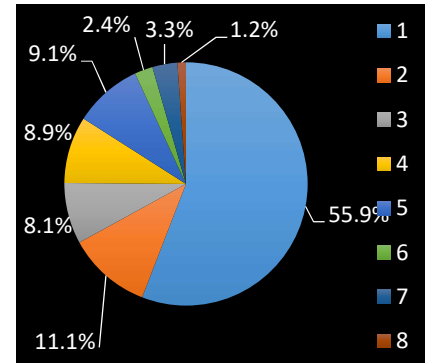
※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

鹿児島県

2018年度 38,186TJ 対前年度比 109.0%

再生可能エネルギー供給状況

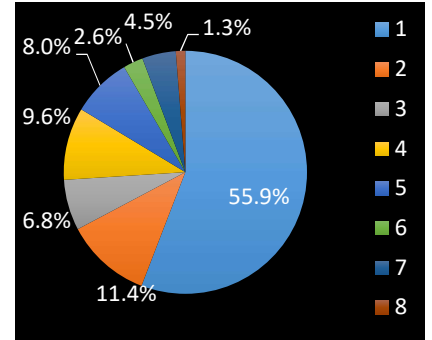
2019年3月末の設備状況をもとに2018年度について推計しました。



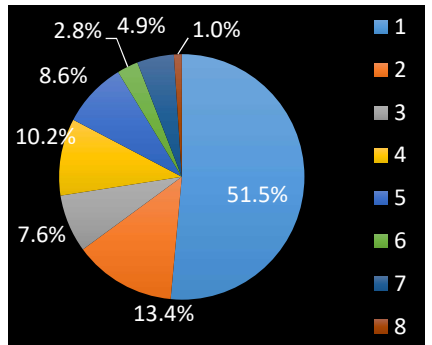
主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	21,343TJ	10	6	18	55.9%
○ 2 風力発電	4,246TJ	4	4	6	11.1%
3 地熱発電	3,093TJ	3	3	3	8.1%
4 小水力発電	3,407TJ	13	16	20	8.9%
5 バイオマス発電	3,465TJ	11	5	14	9.1%
6 太陽熱利用	927TJ	12	5	26	2.4%
7 地熱利用	1,267TJ	6	3	6	3.3%
8.バイオマス熱利用	439TJ	41	38	44	1.2%
合計(供給量)	38,186TJ	7			
再生可能エネルギー自給率			38.26%	再エネ自給率ランク	2
食料自給率			77.5%	食料自給率ランク	8
供給密度(TJ/km ²)			4.157	供給密度ランク	18
民生+農林水産業用エネルギー需要(再エネ熱含む)				99,803TJ	
区域面積				9,187km ²	

2017年度 35,026TJ 対前年度比 107.8%



2016年度 32,485TJ



再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	始良郡湧水町	206.3%	1	指宿市	16.786	☆1	熊毛郡中種子町	665.1%
☆2	出水郡長島町	205.0%	2	霧島市	10.831	☆2	大島郡知名町	533.8%
☆3	肝属郡南大隅町	132.8%	3	出水郡長島町	9.182	☆3	大島郡天城町	519.5%
☆4	肝属郡肝付町	103.5%	4	枕崎市	8.671	☆4	出水郡長島町	498.5%
5	南さつま市	88.1%	5	鹿児島市	8.558	☆5	大島郡伊仙町	436.6%
6	指宿市	87.7%	6	始良郡湧水町	8.062	☆6	熊毛郡南種子町	432.3%
7	霧島市	85.2%	7	いちき串木野市	6.648	☆7	熊毛郡南種子町	432.3%
8	南九州市	77.3%	8	鹿屋市	6.396	☆8	大島郡喜界町	415.1%
9	薩摩郡さつま町	76.6%	9	南さつま市	6.020	☆9	大島郡和泊町	405.5%
10	曾於市	69.4%	10	日置市	5.548	☆10	曾於郡大崎町	320.7%

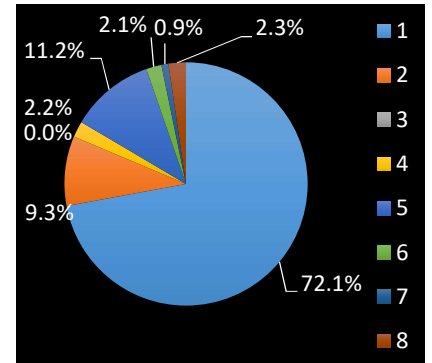
※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生+農林水産業用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。
 ※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。

沖縄県

2018年度 6,041TJ 対前年度比 114.5%

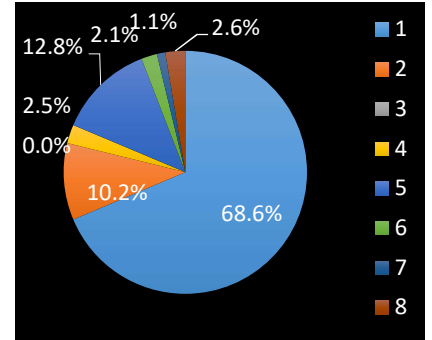


再生可能エネルギー供給状況

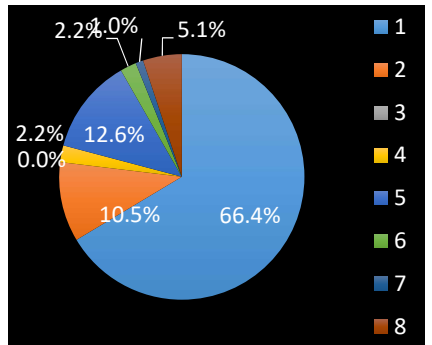
2019年3月末の設備状況をもとに2018年度について推計しました。

主たる再エネ種 供給比率20%以上:◎ 同10%以上○

2017年度 5,276TJ 対前年度比 104.1%



2016年度 5,069TJ



エネルギー種	年間供給量	供給量ランク	再エネ自給率ランク	供給密度ランク	供給比率
◎ 1 太陽光発電	4,355TJ	40	36	26	72.1%
2 風力発電	560TJ	24	22	15	9.3%
3 地熱発電	0TJ	14	14	14	0.0%
4 小水力発電	130TJ	43	41	41	2.2%
○ 5 バイオマス発電	675TJ	40	38	17	11.2%
6 太陽熱利用	125TJ	42	39	35	2.1%
7 地熱利用	57TJ	35	31	31	0.9%
8.バイオマス熱利用	139TJ	46	46	41	2.3%
合計(供給量)	6,041TJ	47			
再生可能エネルギー自給率			7.30%	再エネ自給率ランク	42
食料自給率			30.5%	食料自給率ランク	30
供給密度(TJ/km ²)			2.649	供給密度ランク	31
民生+農林水産業用エネルギー需要(再エネ熱含む)				82,774TJ	
区域面積				2,281km ²	

再生可能エネルギー自給率・供給密度・食料自給率市区町村別top10

※ 円グラフの数字は、12時の位置から時計回りにエネルギー種の番号に対応します。

再生可能エネルギー自給率			再生可能エネルギー供給密度			食料自給率		
順位	市区町村	自給率	順位	市区町村	供給密度	順位	市区町村	自給率
☆1	国頭郡東村	147.0%	1	島尻郡南風原町	44.632	☆1	島尻郡南大東村	2990.0%
2	国頭郡大宜味村	85.3%	2	沖縄市	12.076	☆2	島尻郡北大東村	1636.1%
3	国頭郡伊江村	62.1%	3	宜野湾市	11.393	☆3	宮古郡多良間村	989.5%
4	国頭郡今帰仁村	46.8%	4	うるま市	8.880	☆4	島尻郡伊是名村	760.5%
5	国頭郡国頭村	38.4%	5	浦添市	8.297	☆5	島尻郡久米島町	360.4%
6	国頭郡宜野座村	32.5%	6	糸満市	8.085	☆6	八重山郡竹富町	335.9%
7	宮古郡多良間村	27.0%	7	豊見城市	8.069	☆7	島尻郡伊平屋村	315.2%
8	島尻郡南風原町	21.8%	8	那覇市	6.853	☆8	宮古島市	242.2%
9	国頭郡本部町	21.7%	9	島尻郡与那原町	6.411	☆9	八重山郡与那国町	150.7%
10	八重山郡与那国町	19.3%	10	中頭郡北谷町	5.860	☆10	島尻郡粟国村	129.3%

※ 再生可能エネルギー自給率とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の民生+農林水産業用エネルギー需要で割った値です。

※ 再生可能エネルギー供給密度とは、域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を、域内の面積で割った値です。

※ 食料自給率は、農林水産省が公表している地域食料自給率ソフトを用いてカロリーベースで計算しています。

※ 自給率が100%を超えている場合には順位に☆がつきます。